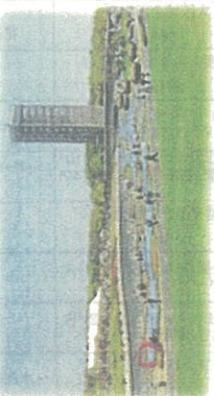


全国都市緑化フェアについて



全国都市緑化フェアは、国民ひとり一人が緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、愉しめる知識を深め、緑がもたらす快適で豊かな暮らしがある街づくりを進めための普及啓発事業として、昭和58年(1983年)から毎年、全国多地で開催されている花と緑の祭典です。

都市緑化の推進を目的とした全国イベント



国内最大級の緑のイベント

■人々の心を魅了する、集客力が高い 花・緑のイベント

・都市緑化をテーマとした30年以上の歴史を持つイベントです。他の緑のイベントと比較しても、イベント集客力の効果は非常に高いといえます。また安定した集客が期待できるイベントと言えます。

・毎年定期的に開催されている地方博は全国都市緑化フェアのみです。これは花や緑が普遍的な魅力を有していることや、フェアが都市緑化をテーマとした緑ある暮らし、街づくり等、多くの方に興味、期待値が大きいイベントであるためと考えられます。

■広範囲の地域から多くのお客様のご来場を誇るイベント

・開催公共団体はもとより、それ以外地域からも花、緑に興味のある多くのご来場者が見込めます。都市緑化意識の啓発や情報発信、また開催公共団体の魅力を知つていただく観光振興、個人消費による経済的な貢献にも効果が期待できます。

■皇室をお迎えする『全国都市緑化祭』を開催

・全国都市緑化祭では、『皇室のおこぼら』『子どもたちの緑化宣言』『みどりの社会貢献賞の授与』『フェア会場での皇室による記念の植樹』等が行われ、都市緑化の重要性を強く訴えかけるとともに、緑化祭に招待される地元の緑化活動関係者等の方々にとって大きな励みとなっています。

多くのご来場者を魅了する緑の最大級イベント

■過去10年間の総来場数は

1790万人

500万人以上のご来場をいたしました静岡、東京フェアをはじめ、概ね100万人程のお客様を誘致することができます。船橋、鳥取フェアにおいても20万人以上のご来場があり、盛況に開催されました。

■全国都市緑化祭のご様子 (浜名湖花博 2014 第31回しおかフェア)



子供たちの緑化宣言

園内のご視察

市からの青葉

■全国都市緑化フェア主要イベント模様

■シンポジウム

第29回全国都市緑化フェア TOKYO【三鷹市治道緑化】来場者をまち全体でおもてなしします。このフェアをきっかけに、各団体のネットワークの活性化、新たな仲間作りが生まれるなどの効果があります。



■庭園コンテスト

第30回全国都市緑化フェア【鳥取大学】自治体、専門家、市民、団体が参加し、地域にふさわしい緑化のあべき姿のシンポジウムを開催します。



■庭園コンテスト

浜名湖花博 2014 第31回全国都市緑化しおかフェア【国土交通大臣賞受賞作】多くの民間企業、市民団体が参加し、緑ある豊かな暮らしを来場者へ披露します。



■庭園コンテスト

改定 平成23年5月25日 国土交通省公園緑地・景観課緑地環境室 国都緑環第72号
要綱 第1条 目的 全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的とするものである。

全国都市緑化フェアの統一基本理念
『『緑のたかなまちづくり』

窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの縁をいまづくろう。

開催回数 年度	主催組織	愛称	開催期間・開催日数	会場 会場面積	テーマ
第1回(1983) 昭和58年度	大阪府 (財)都市緑化基金	グリーングローダ阪	9/23(祝・金)~11/23 (祝・水) 62日間	府)部屋緑地 75ha	21世紀 あすへはばたく花と緑の大坂
第2回(1984) 昭和59年度	東京都 (財)都市緑化基金	モア グリーン東京	10/5(木)~11/10(土) 37日間	都)日比谷公園他 147ha	つくろう ふるさと東京の緑を
第3回(1985) 昭和60年度	神戸市 (財)都市緑化基金	コウベグリーン エキスポ'85	7/21(日)~11/4 (月・祝) 107日間	市)神戸総合運動公園 22ha	人と緑のふれあい 一人間と緑との共生
第4回(1986) 昭和61年度	札幌市 (財)都市緑化基金	'86さっぽろ花と緑の博覧会 GREEN STAGE SAPPORO	6/28(土)~8/31(日) 65日間	市)百合が原公園 25ha	人と自然—そのすばらしい関係
第4回(1986) 昭和61年度	熊本県・熊本市 (財)都市緑化基金	緑と水の博覧会 クマモトグリーンピック'86	8/1(金)~10/12(日) 73日間	県)水前寺江津湖公園 22ha	ひろげよう 緑の文化
第5回(1987) 昭和62年度	埼玉県・大宮市・浦和市・川口市 (財)都市緑化基金	グリーンハーモニー さいたま'87	10/3(土)~11/15(日) 44日間	県)大宮第二公園他 18ha	緑あふれる文化都市園の創造
第6回(1988) 昭和63年度	名古屋市 (財)都市緑化基金	緑・花・祭なごや'88	9/30(金)~11/23(水・祝) 55日間	市)名城公園・市)若宮大通公園 47ha	緑ゆたかな快適空間の創造
第7回(1989) 平成元年度	仙台市 (財)都市緑化基金	'89グリーンフェア せんだい	7/29(土)~10/16(月) 80日間	市)七北田公園・勾当台公園他 29ha	都市と緑の調和をもとめて —いま、社の都の新時代—
平成2年度(1990) 「国際花と緑の博覧会」(大阪鶴見緑地)開催の為全国都市緑化フェアは未開催、全国都市緑化祭のみ開催					
第8回(1991) 平成3年度	北九州市 (財)都市緑化基金	グリーンルネッサンス 北九州'91	9/14(土)~11/11(月) 59日間	市)若松区霧擬緑地他 67ha	自然と人とのすてきな関係 —水・緑・動物たち そして ふれあい—
第9回(1992) 平成4年度	神奈川県・相模原市・(財)都市 緑化基金	グリーンウェーブ ・相模原'92	10/3(土)~11/23(月) 52日間	県)相模原公園・市)相模原麻溝 公園 34ha	みどりの波を今、かながわから —相模原から緑の発信—
第10回(1993) 平成5年度	茨城県・水戸市 (財)都市緑化基金	グリーンフェア '93いはらき	3/27(土)~5/30(日) 65日間	県)偕楽園公園・市)千波公園他 130ha	緑と歴史のロマンを求めて ～心と文化が共鳴する魅の街づくり～
第11回(1994) 平成6年度	京都府・京都市 (財)都市緑化基金	緑いきいきKyoto'94	9/23(金・祝)~11/20 (日) 59日間	市)梅小路公園・府)学研記念公 園 60ha	「緑の文化」その伝統と創生
第12回(1995) 平成7年度	千葉県・千葉市 (財)都市緑化基金	グリーンシンフォニー CHIBA'95	8/25(金)~10/22(日) 59日間	県)幕張海浜公園・市)稲毛海浜 公園 112ha	なつかしい みどりを 未来に
第13回(1996) 平成8年度	富山県・高岡市・砺波市(財)・ 都市緑化基金	彩りとやま緑化祭'96	4/20(土)~9/1(日) 135日間	高岡市)古城公園・高岡市)おとぎ の森公園他 32ha	まち・ひと・暮らし 花ある人を育てる緑
第14回(1997) 平成9年度	広島市 (財)都市緑化基金	グリーンフェスタ ひろしま'97	9/20(土)~11/24(休) 66日間	市)広島大学本郷跡地市)・中央 公園他 26ha	水 緑 いのちの輝き
第15回(1998) 平成10年度	新潟県・新潟市・新津市・(財) 都市緑化基金	にいがた緑のものがたり '98	8/1(土)~10/18(日) 79日間	県)新潟会場:県立鳥屋野潟公 園・県立植物園他 66ha	創ろう ふれあう緑 広げよう 明日の地球へ
第16回(1999) 平成11年度	宮崎県・宮崎市 (財)都市緑化基金	グリーン博 みやざき'99	3/27(土)~5/30(日) 65日間	県・市)阿波岐原森林公園 77ha	きらめく太陽 あふれる緑のまちづくり
第17回(2000) 平成12年度	栃木県・宇都宮市・壬生町 (財)都市緑化基金	マロニエとちぎ 緑花祭2000	9/9(土)~11/5(日) 58日間	県)とちぎわんぱく公園・市)総合 運動公園 72ha	つなぐ緑 つくる緑 こころの緑
第18回(2001) 平成13年度	石川県・金沢市 (財)都市緑化基金	夢みどりいしかわ2001	9/8(土)~11/11(日) 65日間	県・市)兼六園周辺文化ゾーン金 沢城址公園 27ha	人とみどりが織りなす文化のくにづくり —いま、金沢城址から…
第19回(2002) 平成14年度	山形県・新庄市・寒河江市 (財)都市緑化基金	やまがた花咲かフェア'02	6/15(土)~8/26(月) 73日間	市)最上川ふるさと総合公園・市) 最上中央公園 13ha	四季感動 花のやまがた 緑の暮らし
第20回(2003) 平成15年度	大分県・大分市 (財)都市緑化基金	おおいた 緑・香り 夢フェスタ'03	4/28(月)~6/29(日) 63日間	県)大分スポーツ公園・市)佐野 植物公園 29ha	緑・香 in Oita 21
第21回(2004) 平成16年度	静岡県・浜松市(財)・国際園芸 博覧会協会・(財)都市緑化 基金	浜名湖花博 (国際園芸博覧会と同時開催)	4/8(木)~10/11(月・祝) 187日間	浜名湖ガーデンパーク 56ha	花・緑・水 ～新たな暮らしの創造～
第22回(2005) 平成17年度	福岡市 (財)都市緑化基金	アイランド花どんたく	9/9(金)~11/22(日) 73日間	アイラントシティ 53ha	はじまる、花と緑の幸せ物語 ～風・博多からアジアへ～
第23回(2006) 平成18年度	大阪市 (財)都市緑化基金	花・彩・祭 おおさか2006	3/25(土)~5/28(日) 65日間	大阪城公園内 66ha	ひとが動く、まちがわかる 花と緑の晴れ舞台、大阪城を起点として
第24回(2007) 平成19年度	船橋市 (財)都市緑化基金	おとぎの国の花フェスタ inふなばし	10/2(火)~11/4(日) 34日間	船橋市アンデルセン公園 27ha	子どもたちの幸福な未来 ～アンデルセンから、世界の子どもたちへの 贈りもの～
第25回(2008) 平成20年度	群馬県・前橋市・高崎市・(財) 都市緑化基金	花と緑のシンフォニーぐんま2008	3/29(土)~6/8(日) 72日間	前橋公園・敷島公園・高崎城址公 園周辺・中心市街地他157ha	花、緑そして平和 ～利根川の大地から～
第26回(2009) 平成21年度	岡山县・岡山市 (財)都市緑化基金	おかやま花だより未来へ2009	3/20(金)~5/24(日) 66日間	岡山市西大寺地区10ha・岡山 城・後楽園・西川緑道他 約47 ha	花・緑・ひと 咲いて魅せます 夢おかやま ～晴れの国からの贈りもの～
第27回(2010) 平成22年度	奈良県 (財)都市緑化基金	やまと花ごよみ2010	9/18(土)~11/14(日) 58日間	県営馬見丘陵公園他 45ha	未来へつなぐ「花のもてなし」 ～やまと青堀からの贈りもの～
第28回(2011) 平成23年度	鹿児島県・鹿児島市 (財)都市緑化機構	花かごしま2011	3/18(金)~5/22(日) 66日間	県)吉野公園・市)鹿児島ふれあいス ポーランド 52ha	南からの風にのせて！ ～よかまち、よか花、よか緑～
第29回(2012) 平成24年度	東京都 (財)都市緑化機構	TOKYO GREEN 2012	9/29(土)~10/28(日) 30日間	上野恩賜公園・井の頭恩賜公園・日 比谷公園他約30ha	緑の風がふきぬける東京
第30回(2013) 平成25年度	鳥取県・鳥取市 (公財)都市緑化機構	水と緑のオアシス とっとり2013	9/21(土)~11/10(日) 51日間	瀬山池公園他 約10ha	ともに育てる身近な緑 ～水と緑につながれた 世界ジオパークのまちか ら～
第31回(2014) 平成26年度	静岡県・浜松市 (公財)都市緑化機構	浜名湖花博2014 ～花と緑の祭典～	3/21(金)~6/15(日) 87日間	浜名湖ガーデンパーク約46ha 浜松フラワーパーク約35ha	花と緑のオーケストラ ～水辺で奏でる未来の暮らし～
第32回(2015) 平成27年度	愛知県 (公財)都市緑化機構	花と緑の夢あいち 2015	9/12(土)~11/8(日) 58日間	愛・地球博記念公園約190ha	緑のある暮らしの明日を愛知から 【花を愛し、緑のチカラを知る 全国都市緑化 愛・ 知 フェア】
第33回(2016) 平成28年度	横浜市 (公財)都市緑化機構	ガーデンネックレス横浜2017	29/3/25(土)~6/4(日) 72日間	山下公園・横浜公園・横浜動物の 森公園他	『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』
第34回(2017) 平成29年度	八王子市 (公財)都市緑化機構	みどりの丘の花絵巻 はちおうじ2017	9/16(土)~10/15(日) 30日間	富士森公園 他市内6箇所	自然とまちと人を結ぶ「みどりの環境講和都市」 花とみどりでめぐる「繋り」と「輝き」 …見て、学んで、感じよう、はちおうじ …
第35回(2018) 平成30年度	山口県・山口市 (公財)都市緑化機構	未定	秋季	山口きらら博記念公園	未定
第36回(2019) 平成31年度	長野県・松本市・塩尻市 ・安曇野市・大町市 (公財)都市緑化機構	未定	4月中旬~6月中旬	県営松本平広域公園 ほか	北アルプスの麓から広がる 花と緑に包まれた しあわせ暮らし

第36回全国都市緑化信州フェア基本構想要約版

1 附録の意義

1 信州らしい緑化意識の高揚

信州には、高嶺の連なり、木立に包まれる高原と、里山と美しい草原、里山と美しい田園があり、それらの四季の変化になじんだ伝統的なまちなみがあります。信州のみどりは、自然と調和した暮らしの中で時間を作り、豊かな水に育まれたみどりの恵みがあります。

信州の趣向長寿の源がここにあります。

全国都市緑化フェアの開催により、地域のみどりが果たしてきた役割をあらためて認識し、みどりの恵みに感謝する心を育むとともに、信州らしい緑化意識を一層盛り上げ、暮らしその質が高まることが期待できます。

2 花と緑に囲まれたうるおいのあるまちづくりの推進

信州松本平は、花いっぱい運動の発祥地であり、屋敷林の保全を図るなど、これまで日本の墨根と呼ばれる北アルプスの麓で育まれた緑化意識のもと、地域の皆様が多く緑に開わる活動を展開しています。

全国都市緑化フェアの開催により、まちなみや身のまわりにあるみどりを再認識し、山から里、里から里へ緑をつなぎ、それをネットワークすることで花と緑に囲まれたうるおいのあるまちづくり、美しいふるさとづくりの推進が期待できます。

3 緑化によるにぎわいの創出

花と美しい緑に囲まれた心地よい空間は、来訪者を和ませ、心豊かな時間を提供します。

全国都市緑化フェアの開催により、各会場において新しい緑化の技術や優れたデザイン等を駆使したみどりの情報や空間を提供することで緑に囲まれる地域の産業が振興されます。また、北アルプスの麓に連なる「花と緑の道」の周遊が促されることにより、地域に新しい活気やにぎわいが創出されることが期待できます。

4 緑化の推進力となる人材の育成

将来に向かってみどりのまちづくり、ふるさとづくりを継続する力となるのは、緑への愛情や緑化の知識と意欲を持つ県民・市民、民間企業、多様な主体の方々、そして子どもたちです。

全国都市緑化フェアの開催により、緑を楽しみ、緑を大切にする人材を育てるとともに、将来にわたって活躍できる舞台を整えていくことで緑豊かな環境の創造につながります。

そして全国都市緑化フェアでの様々な祭りやイベントにより、次世代を担う子どもたちに緑の大切さや尊さ、ふるさとのすばらしさを伝えることが期待できます。

2 基本理念

信州は緑の国

山々の雪を源とする清らかな水に育まれるみどりが厳しくも豊かな自然を敬い、寄り添うわたしたちのいとなみどりに包まれた心豊かな生活しあわせが五感を満たしているこの恵みを全国、世界のみなまとわかつあたいいわたしたちはみどりのすばらしさを再認識し、伝え、うるおいのあるまちづくりを未来につなげていくため

北アルプスを望むごく信州松本平で
第36回全国都市緑化信州フェアを開催します

3 開催方針

(1) 緑とひとが調和する信州らしさを感じるフェア

(信州の風景・食・健康長寿・自然との調和)

四季の鮮やかな彩りが次々と変化する信州は、農や林のいとなみがあり、食文化も豊かで、伝統行事も盛んです。そして緑とともにある暮らしが、心と体の健康を育み長寿の源となり、心豊かな生活を営んできました。信州フェアでは、いつ、どこにいてもさりげなく感じられる、私たちが時よりとする山岳景観、農村景観との調和を強く意識し、今まで曾まられてきた持続可能なライフスタイルを更に磨き、山・里・まちがつながり、緑とひとが調和する信州らしさを感じるフェアを目指します。

(2) ひとりひとりが主人公となり共につながるフェア

(ユニバーサル化 人材育成 (ユニティ) 地域力向上 官民協働連携)

価値観が多様化する社会となり、それぞれが感じる時の流れや、モノへのこだわりなど、今は遠いを認めあう社会へと成熟してきています。信州フェアでは、県民・市民のひとりひとりが、主催者の一員として来場者を迎え、また来園者としても心から楽しめよう、お年寄り、車椅子の方、障がいを持つ方、そして子どもや大人までだれもが参加し協働できるユニバーサルな場を開設します。

(3) 日本のまん中 信州から広がるフェア

(グローバル化 觀光振興)

信州は地理的に日本の中心で、南北に長く、高嶺から平地までの高低差も大きいため、山から里への季節のうつろいを感じられる特徴を有しています。信州フェアでは、緑と人が調和した暮らしおしゃらしさを、日本のまん中、「山岳高原空港を有するごく信州松本平から情報発信し、多くの信州ファンを創り出すことを目指します。緑に包まれるアウトドアクエティビティを広げるとともに、観光交流・移住人口の増加、緑・環境に關わる産業などの広がりを通じ、信州フェアの取り組みが地域や国内外にも広がるグローバルなフェアを目指します。

4 開催テーマ（実施要綱第6条）

全国都市緑化フェア統一開催テーマ

「緑ゆたかなまちづくり」

～窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまづらう～

(5) 想定来場者数 事業内容を踏まえ、基本計画策定時に設定する。

(6) 入場料 メイン会場の有料化も検討する。（集客可能な催事の検討）

(7) 事業費 事業内容を踏まえ、基本計画策定時に確定する。

(8) 事業スケジュール

項目	平成28年度(開催3年前)	平成29年度(開催2年前)	平成30年度(開催1年前)	平成31年度(開催年)
全体計画	基本構想 ●	基本計画 ●	実施計画 ●	全般運営方針 ●
会場整備			設計・整備 ●	撤去 ●
国との協議		大臣協議・同意 ●		
実行体制	実行委員会 ● 監修会 ● ハブリックコメント ●	実行委員会設立・組合 ●	実行委員会設立・組合 ●	実行委員会解散 ●

図：事業スケジュール

5 基本的事項

(1) 名称 第36回全国都市緑化信州フェア

(2) 主催者等 提唱：国土交通省

主催：長野県・松本市・大町市・塩尻市・安曇野市・
公益財団法人都市緑化機構

本フェア事業の実行組織として実行委員会を設立する。

(3) 開催期間 平成31年4月中旬～6月中旬を基本とする。

※期間中全国都市緑化祭を実施する。

(4) 会場構成 メイン会場：【松本・塩尻会場】「県営松本平広域公園」

サブ会場：【安曇野会場】「国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）」

「県営鳥川渓谷緑地」

【大町会場】「国営アルプスあづみの公園（大町・松川地区）」

その他：「サテライト会場」、「サート会場（スポット）」を設定する。
(メイン、サブ会場以外は、基本計画以降に事業内容を斟酌し設定)

6 事業性体制等

《事業推進体制》本フェアでは、円滑な事業推進やフェア後の発展を目指し、主催者による多元的な体制を想定する。

《参加協働連携》本フェアをきっかけとし地域活性化、地域力向上に資する持続的な参加を促し、協働連携をしながら人材育成の場の創出、交流を促進する。

《会場計画》 本フェアの拠点となるメイン会場では、求心力の源となる中信地区的風土景観と調和する魅力的な景観を創出するとともに、サービス面、運営面に注力し快適な会場環境、空間を演出する。

● 全国都市緑化よこはまフェア 基本構想書 概要版

5 よこはまフェアの基本的事項

(1) 主催者等

主催者：横浜市、(公財)都市緑化機構（「実行委員会」を設立する。） 提唱：国土交通省

(2) 開催期間

平成29(2017)年3月下旬～6月上旬を基本とする。

(3) 会場構成

- 都心臨海部会場
横浜みどりアップ計画の「都心臨海部の緑花による賑わいづくり」の成果をアピール。「港町横浜の歴史・文化」「環境未来都市に向けた緑の創出」をテーマとし、各会場を回遊することで緑花による賑わいを創出
- ・山下公園：全国都市緑化祭会場、バラ園や姉妹友好都市の花壇等による美しい緑花で「港町横浜」を演出
- ・グランモール公園：「環境未来都市」の取組を最先端の緑化技術で演出、社会実験等を実施し新たな緑の創出を発信
- ・港の見える丘公園：ローズガーデン等のバラの魅力を高め、「異国情緒あふれる横浜」を美しい花々で演出
- ・横浜公園：チューリップが咲き誇る「よこはま花と緑のスプリングフェア」と連携
- ・新港中央広場：赤レンガ倉庫前の「ナチュラルガーデン」としてオシャレなまち横浜を演出
- 郊外部会場
本市緑施策の「郊外部の緑」の成果をアピール、「緑豊かな横浜」をテーマとし、横浜動物の森公園植物公園予定地を中心、豊かな横浜の緑を楽しむスタイルの提案や、横浜の緑施策の成果を身近に実感、体感できるものを演出
- ・横浜動物の森公園植物公園予定地：横浜の里山の魅力、楽しみ方の提案
- 連携等
・市民連携：①各区で花と緑をテーマにしたイベントを実施 ②その他都市公園、などリアップ事業地区（ウエルカムセンター（森の情報発信）、地域のまちづくり地区（市民協働による緑のまちづくり事業）、駅前や商店街などと連携し、市民協働による緑花の取組を発信
- ・企業連携：企業による協賛・連携、花や緑の催事の誘致、「日本フリマー＆ガーデンショウ」【（公社）日本家庭園芸普及協会】を説明し、平成29年横浜開催が決定
- ・学術関係等：①学術的シンポジウム等で横浜の花と緑、環境に関する、様々な取組を全国的に紹介 ②横浜の「農」と食文化のPR ③緑と芸術文化の融合

(4) 入場料

会場等は無料とする。（一部既存有料会場やイベントも検討）

(5) 想定入場者数

基本計画段階において、開催期間、事業内容、交通対策などを勘案し、設定

(6) その他基本的事項

- ①愛称シンボルマーク、フェア公式キャラクター等：
フェアの統一主題（テーマ）を象徴し、横浜らしく、市民に親しまれるものを設定し、広報宣伝に活用
- ②事業費：基本計画段階において、開催期間、事業内容、交通対策などを勘案し、設定

6 全国都市緑化祭

期間中に皇室をお迎えしての式典「全国都市緑化祭」（1日）を開催する。

7 運営計画

- 「広報宣伝計画」、「開催事計画」、「出展・展示計画」、「会場運営計画」、「植物調達計画」、「交通輸送計画」等
- フェアの目的、基本理念を踏まえた戦略的な運営を計画、展開する。

8 事業計画（開催までのスケジュール）

	開催3年前	開催2年前	開催1年前	開催年	(年度)
全体計画	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	
国との協議					
実行体制	実行委員会設立・総会 大臣開催同意 監修会議 実行委員会解散				
会場整備	設計・整備				

1 全国都市緑化フェアの動向と方向性

<全国都市緑化フェアの開催状況>
全国都市緑化フェアは、平成26年度までに合計31回にわたり、国際花と緑の博覧会開催年度を除く毎年度、日本各地で開催されてきた。新たに公園運営の提案や、緑の価値の発信等が期待されている。

2 横浜市でフェアを開催する背景と目的

- ・横浜市中期4か年計画(2014～2017)における、戦略3『魅力と活力あふれる都市の再生』～「都心臨海部の魅力向上」の「緑や花による魅力づくり」の目標として、2017年春の都市緑化フェアを設定
- ・横浜みどりアップ計画(2014～2018)の折り返し地点での「都心臨海部の緑花による賑わいづくり」の推進をはじめ、郊外部での緑の取組の成果を内外にアピールし、さらには、横浜らしいライフスタイルを提案・スプリングフェア、世界トライアスロンシリーズ横浜大会、横浜開港祭等既存イベントとの連携によるオール横浜での展開

3 よこはまフェア開催の統一主題

全国都市緑化フェアの統一開催テーマ（共通）

「緑豊かな街づくり
～窓辺に花を・暮らしに緑を・街に緑を・明日の緑をいまづらう～」

よこはまフェアの統一主題（案）

『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』

4 よこはまフェアの開催目標

美しい花と緑豊かなまち 横浜へ
これまで培ってきた横浜の「歴史と文化」「緑の取組み」をみんなでさらに広げよう
訪れたまち 横浜
～観光・MICE都市づくり、創造都市への貢献～
港町横浜の歴史・文化資源を美しく、そしてよりよく、世界を魅了する最もスマートな
おもてなしをすることもとに、環境未来都市に向け、都心臨海部などで実感できる
緑の創出を発信していく

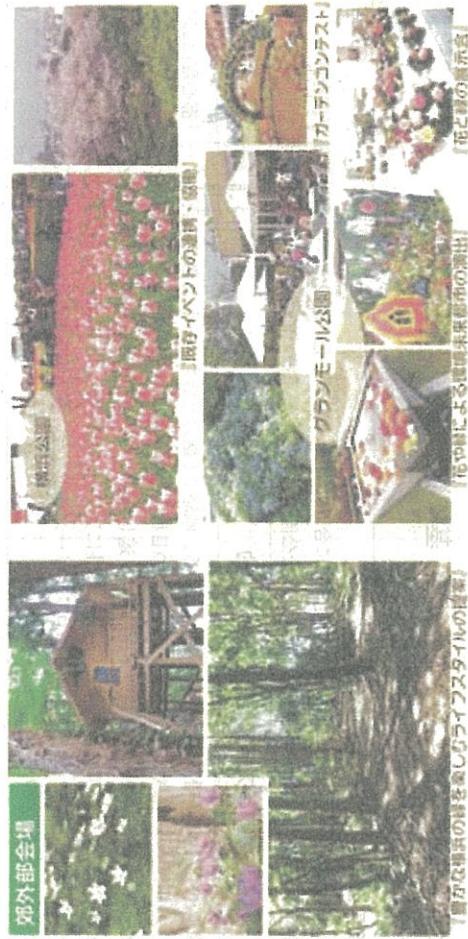
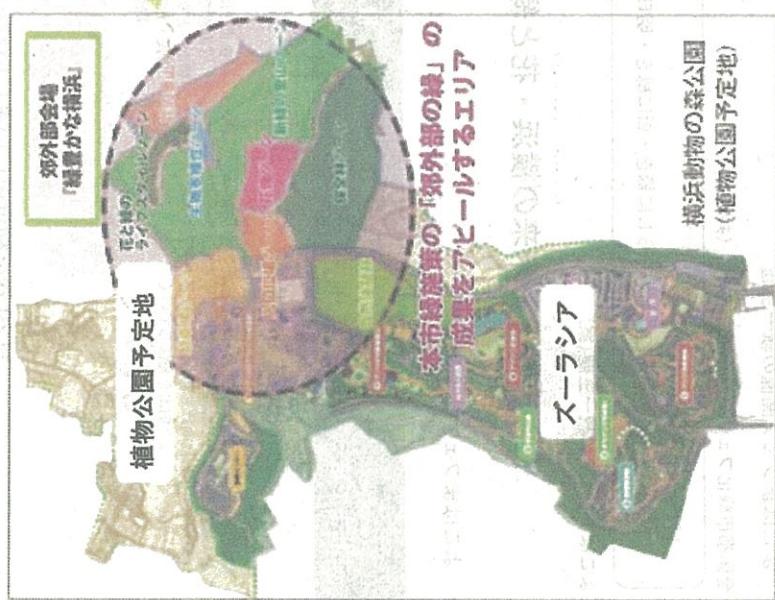
市民力
(市民の活力と知恵の結集)

H29春を横浜らしい美しい花と緑で演出
(3月サクラ～4月チューリップ～5月バラ)

『誰もが安心と希望を実感でき、人も企業も輝く横浜』の実現
<横浜市 中期4か年計画2014～2017>

【裏面あり】

全国都市緑化よこはまフェア 会場イメージ



「都市緑化祭」開催を記念しての式典 「花と緑による花園都市の演出」

「花と緑による花園都市の演出」

第33回全国都市緑化よこはまフェア実施計画（概要版）

名称 第33回全国都市緑化よこはまフェア
開催期間 2017年3月25日（土）～6月4日（日）（72日間）
会場構成 ・みなとガーデン（都心臨海部会場）
 （山下公園、グランモール公園、港の見える丘公園、
 横浜公園、日本大通り、象の鼻パーク）、新港中央広場
 運河パーク）
 ・里山ガーデン（郊外部会場）
 「横浜動物の森公園植物公園予定地」
 横浜市、公益財団法人 都市緑化機構
運営主体 第33回全国都市緑化よこはまフェア実行委員会
規定来場者数 500万人

開催概要

開催理念

『歴史と未来の横浜・花と緑の物語』をテーマ
 に美しい花と緑豊かなまち横浜の実現

開会式 平成29年3月25日（土）
 場所：大さん橋ホール
 閉会式 平成29年6月4日（日）
 場所：大さん橋ホール
 全国都市緑化祭 フェア会期中（1日）

※『ガーデンネックレス』

公園などの魅力ある花と緑の資源にさら
 に書きをかけ、美しい「ガーデン」をつ
 くります。
 それらが回遊できるよう「ネックレス」
 のようにつながり、横浜の歴史や文化、
 緑の取り組みなど、まち、人、時をつな
 ぎ、美しい横浜を表現します。

会場

市内の会場位置



7

会場

メイン会場

みなとガーデン コンセプト『歴史と未来の横浜』

開港とともに築かれた歴史的建造物の継承や観光地として魅力ある景観を花
 と緑で引き立てるだけでなく、みなとみらい地区に代表される新しい横浜を
 緑化など総合化技術で演出します。



花や緑にかかる魅力ある場所を「パートナー会場」とします。
 広報やイベント等で連携を図り、メイン会場との相乗効果を高め
 ます。また、市内全域でよこはまフェアを展開するため、市内18区と
 運営した事業を進めます。

会場

星山ガーデン コンセプト『緑豊かな横浜』

星山の魅力、楽しむ力を身近に実感、体感できるよう、市内で最大級となる花の祭典
 や、自然の樹林を使ったアスレチックなど、子どもから大人まで楽しめる会場を目指
 します。



Garden Necklace YOKOHAMA 2017

ハマを彩る100万本の花でお出迎えします。

チューリップ（3月下旬～4月下旬）



汽車道やさくら通り等既存の桜並木に加え、山下公園などに、100基のシンドモア桜のコンテナが出現します。まちが桜の花見会場になります。



バラ（5月上旬～6月上旬）



横浜公園の16万本のチューリップを中心、合計30万本のチューリップが街を彩ります。時間とともに色が変化する新品種の「ラバースタウン」にも注目！（株）サカタのタネ協力

イベント・屋内展示



横浜赤レンガ倉庫で、屋内ならではの展示やワークショップ等を実施します。みなとガーデン内の各会場では既存イベントと連携し、街に一層の賑わいを創り出します。

歴史的建造物



開港資料館や西洋館等、構造の歴史的建造物を花や緑で飾り演出します。

日本フラワー＆ガーデンショウ



よこはまフェアを機にパシフィコ横浜に日本フラワー＆ガーデンショウを説明しました。主催者と連携して開催機運を盛り上げます。

NHK「趣味の園芸」50thガーデン



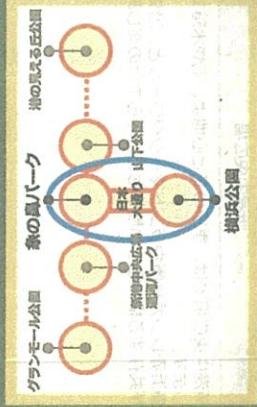
よこはまフェアの会場内に、フォトスポットを設置します。花だけではなく横浜の景色や街並みを活かしたフォトスポットを開催します。（予算22万円）

フォトスポット



番組放送50周年事業として、港の見える丘公園が1年をかけて「NHK「趣味の園芸」50th（50周年）ガーデン」を作ります。

みんなとガーデン 日本大通りエリア

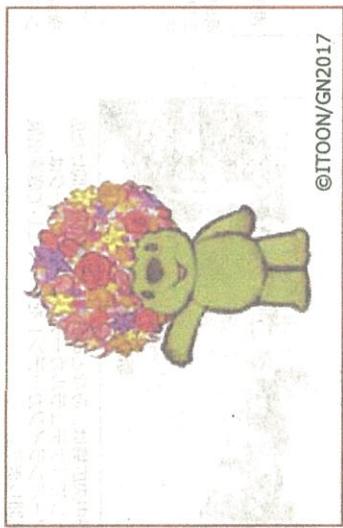


「花の日本大通り」

＜象の鼻パーク～日本大通り～横浜公園＞を中心としたガーデンの中心会場として位置づけます。自治体出展花壇や企業出展花壇、主催者展示によるテーママラソンを中心とした飾花により、「花の日本大通り」としてフェア開催期間（7月2日間）を通じて花で彩ります。

ガーデンベアの庭

よこはまフェアのシンボリ的なガーデンで出迎えます。



©ITOON/GN2017

企業出展

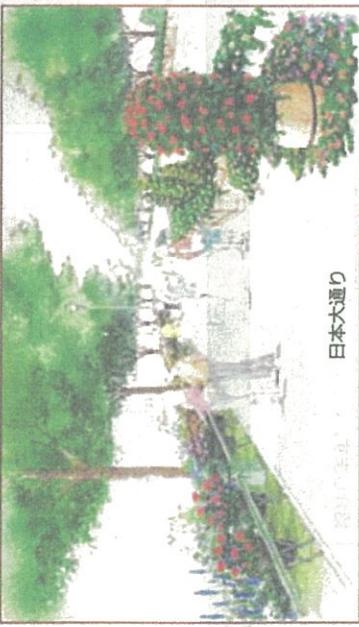
「もてなしの庭」をテーマに全国から企業等が庭園を出展します。



象の鼻パーク

象の鼻パークは横浜開港発祥の地になります。
開港以来、多くの方をお出迎えしてきたことから「もてなしの庭」をテーマに庭園出展を開します。

日本大通り



日本大通り

16万本のチューリップ

市民の想いで咲かせた16万本のチューリップが競演します。
横浜公園ではスプリンクリングエアに合わせて市民とともに一緒に咲きます。
市民協働は横浜の目指す都市緑化の重要なポイント。チューリップ後も花が楽しめように出します。



横浜公園

協働ガーデン

横浜DeNAベイスターズとの協働ガーデンが登場します。
横浜が誇るプロ野球球団「横浜DeNAベイスターズ」と連携して、野球に親しみ、フォトスポットとなるような「ハイスター・ガーデン」(仮称)を作ります。



©YDB

YOKOHAMA



©YDB

象の鼻パーク

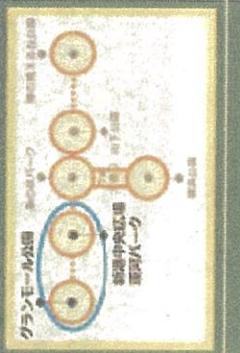
Garden Necklace YOKOHAMA 2017

みんなとガーデン グリーンキューブ

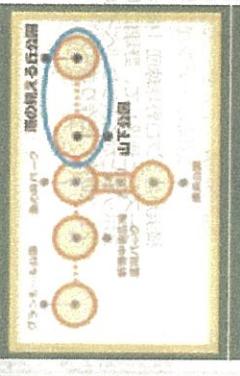
緑化壁に囲まれたブースで横浜市内産の花・緑・農をPRします。



みんなとみらいエリア

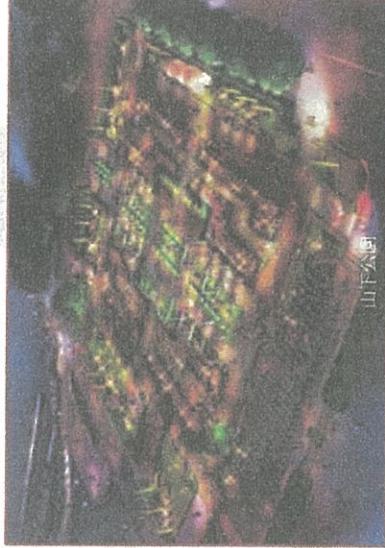


山手エリア



未来のバラ園（ライトアップ）

星のバラ園そして夜のバラ園、二つの顔が楽しめます。

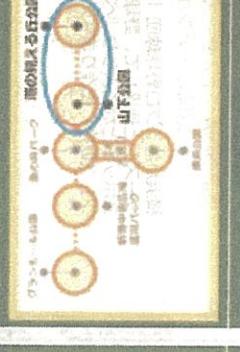


ナチュラルガーデン

花、風、木陰、横浜らしい風景でもてなします。



みんなとガーデン



グラントモール公園では、緑化した壁面に囲まれたブースで横浜市の花・緑・農をPRするとともに、横浜市が進めているみどりの施策や将来につながる取組なども伝えます。また、よこはまフェアの開催に合わせ新品种のバラも導入します。

ローズゲートなどを活用したイルミネーションやライトアップで、年末花壇の空町を立体感覚がで演出します。

グラントモール公園

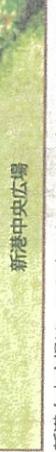
ナチュラルガーデン

花、風、木陰、横浜らしい風景でもてなします。



新港中央広場

新港中央広場では、季節の花と木陰でもてなします。横浜赤レンガ倉庫やランドマークタワーなど、歴史と都市が共存する横浜らしい風景もごならではの楽しみです。



新港中央広場

新港中央広場は、「ナチュラルガーデン」、運河パークは、「アーバンライフガーデン」をテーマとして庭園展覧会を開催します。

あこがれの西洋の庭と西洋館

横浜山手西洋館では、建物のイメージと合ったガーデンを楽しめます。



企業・団体出展
全国から企業・団体による庭園出展を展開します。



港の見える丘公園

港の見える丘公園では、「天空のパティオ」として既存壁面をハンギングバスケットやスケットやつるバラで装飾します。

イギリス館の前に広がるローズガーデンは、開港文化を現代に引き継ぐ西洋館とともに楽しめます。130品種、1,200株のイングリッシュユーローズとともにシルバーペルーの一年草・宿根草で彩ります。

港の見える丘公園

世界の広場では、「天空のパティオ」として既存壁面をハンギングバスケットやスケットやつるバラで装飾します。

横浜山手西洋館の一年草・宿根草で彩ります。



ハンギングバスケットの丘 イングリッシュユーローズの庭
100基のハンギングバスケットが港の景色を彩ります。異国情緒のある、バラと暮らしを楽しめます。



港の見える丘公園

港の見える丘公園では、「天空のパティオ」として既存壁面をハンギングバスケットやスケットやつるバラで装飾します。

イギリス館の前に広がるローズガーデンは、開港文化を現代に引き継ぐ西洋館とともに楽しめます。130品種、1,200株のイングリッシュユーローズとともにシルバーペルーの一年草・宿根草で彩ります。

港の見える丘公園

世界の広場では、「天空のパティオ」として既存壁面をハンギングバスケットやスケットやつるバラで装飾します。

横浜山手西洋館の一年草・宿根草で彩ります。



港の見える丘公園 イングリッシュユーローズの庭
世界の広場では、「天空のパティオ」として既存壁面をハンギングバスケットやスケットやつるバラで装飾します。



港の見える丘公園

港の見える丘公園では、「天空のパティオ」として既存壁面をハンギングバスケットやスケットやつるバラで装飾します。

イギリス館の前に広がるローズガーデンは、開港文化を現代に引き継ぐ西洋館とともに楽しめます。130品種、1,200株のイングリッシュユーローズとともにシルバーペルーの一年草・宿根草で彩ります。

港の見える丘公園

世界の広場では、「天空のパティオ」として既存壁面をハンギングバスケットやスケットやつるバラで装飾します。

横浜山手西洋館の一年草・宿根草で彩ります。



港の見える丘公園・横浜山手西洋館

港の見える丘公園 イングリッシュユーローズの庭
世界の広場では、「天空のパティオ」として既存壁面をハンギングバスケットやスケットやつるバラで装飾します。



港の見える丘公園

港の見える丘公園では、「天空のパティオ」として既存壁面をハンギングバスケットやスケットやつるバラで装飾します。

イギリス館の前に広がるローズガーデンは、開港文化を現代に引き継ぐ西洋館とともに楽しめます。130品種、1,200株のイングリッシュユーローズとともにシルバーペルーの一年草・宿根草で彩ります。

港の見える丘公園

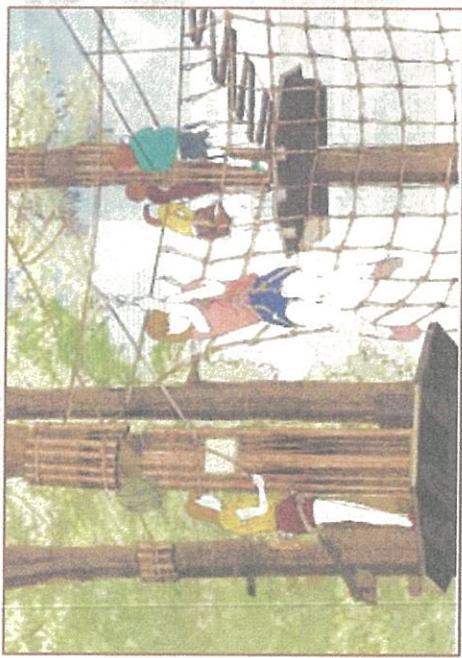
世界の広場では、「天空のパティオ」として既存壁面をハンギングバスケットやスケットやつるバラで装飾します。

横浜山手西洋館の一年草・宿根草で彩ります。



フォレストアスレチック

横浜の森の空中アスレチック
森を上から眺める！新鮮な感動に出会います。



樹の上で、安全器具を設置して、さあ、空中大冒険。誰もが、新鮮な森に触れ真剣に楽しめます。大人は子供にかえり、子供は大人になる。今だけの体験は、自然や親子の絆も深めてくれます。（有料）

アクセス

会場へのアクセスの工夫（裏面参照）

会場までの公共交通機関の利用促進をスーラシアと連携して広報することに、利便性の向上のため、混雑が予想される会期中の土日祝日は、中山駅周辺から会場に直接アクセスできるシャトルバスの運行等を検討します。また、車での来場者には、里山ガーデンに隣接するズーラシア北門駐車場を常時利用していただけるよう連携を行います。

移動

会場を楽しくめぐるための工夫

子どもたちが乗り物を楽しみ、幅広い年代の来場者が広い会場を回遊できるよう、会場内に移動バスを走らせます。また、スーラシアと里山ガーデンを一体的に楽しむように、スーラシアとの行き来がしやすくなるような方法を検討します。

（会場内移動）（スマート）



谷戸を彩る数々の桜と一緒に広がるナノハナ等の春の花々、桜の後に水辺に張り出した観音デッキから、カキツバタ園を結ぶ小道。

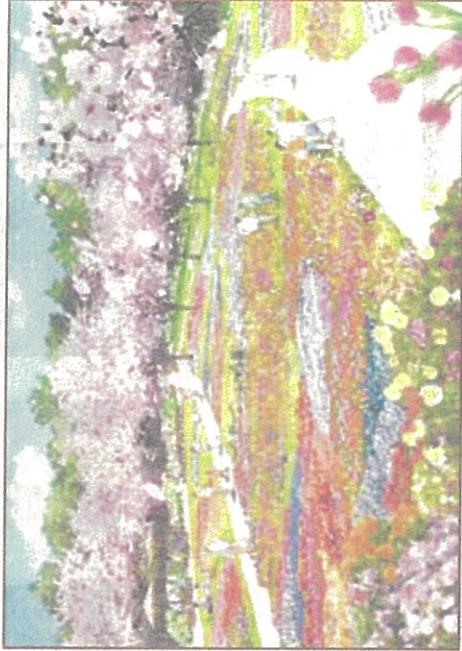
新緑の中を散策しながら横浜の在来の花と繋がります。

谷戸の花で彩る大花壇から、谷戸のカキツバタ園を結ぶ小道。

新緑の中を散策しながら横浜の在来の花と繋がります。

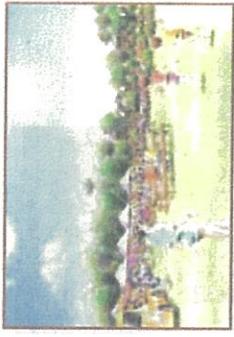
里山ガーデン

市内最大級、1ヘクタールの大花壇
春の花々が描き出す大キャンバスを楽しめます。



ゲートをくぐり林の中を抜けると・そこは巨大な花のキャンバス。サクラやチューリップをはじめたくさんの春を代表する花々がお出迎えします。デッキから眺めたり、一面の花畠の中をお散歩したり、どちらにこでしかできない体験です。また、横浜のパンジーの生産は、栽培面積で全国トップクラス。横浜の農家が丹精込めて育てた地場産の花々にも注目です。

胸が高まる正面入口



森遊びや楽しみを体験する入口、花を楽しむ入口があり、それぞれの入口を進むと、フォアスチケットや大花壇などが待ち受けます。脅わいを彩る花壇や出展ブースとともに期待感が高まるエントランスです。

横浜の花と緑を楽しむ「花の小道」



横浜の花からの人びりと美しい風景を楽しめます。

美しい懐かしさ、谷戸のかきツバタ園 観覧デッキからのんびりと美しい風景を楽しめます。



谷戸の花畠・谷戸のかきツバタ園



谷戸の花で彩る大花壇から、谷戸のかきツバタ園を結ぶ小道。新緑の中を散策しながら横浜の在来の花と繋がります。

谷戸を彩る数々の桜と一緒に広がるナノハナ等の春の花々、桜の後に水辺に張り出した観音デッキから、カキツバタ園を結ぶ小道。

新緑の中を散策しながら横浜の在来の花と繋がります。

「港町横浜の歴史」と「郊外部の縁豊かな里山文化」等の観光資源を活用し
様々な広報媒体によるPRや多彩なプログラムにより全国から来場促進を図ります。



連携 相乗効果の実現

顧客説明	・様々なエリアや幅広い層からの誘客を図る。 ・観光資源を活用。 ・花を中心とした情報を効果的に提供する。 ・事前のPR活動
広報宣伝	・メイン会場及びパートナー会場の魅力を広報。 ・テレビ、ラジオ、インターネット、メディアなど、様々な広報媒体を活用したPRをする。
行催事	・市民、企業、学術関係者等と連携して行催事を開催する。 ・花と緑の魅力を感じ、楽しむことをができる行催事を展開し、フェアの理念を浸透させます。
営業参加	・飲食、公式グッズ販売店を中心とした展開する。 ・「みんなが歩く道」の開設時間は9時～17時案内所の開設時間は9時～17時

実施緊

マスメディアの活用	・マスメディアから の誘客情報 ・シンボルキャラクターを活用 ・開花時期に合わせた開幕説明 ・事前のPR活動
公式行事	・公式グッズの販売 ・飲食サービス ・屋外展示
コンテスト	・コンテスト
交通広告	・屋外展示

協力推進

市民(個人・団体、学校、企業、団体との協働)	・市民との協働の仕組みを活用、市民、学校、企業などの参加を促進。 ・横浜市だけでなく多様な主体との協働により、フェアを実施する。
------------------------	---

区役所との連携	・区役所、商店街、商店施設等との連携
---------	--------------------

各会場の適切な運営管理を行い、植物維持管理ではボランティアが参画し、市民との協働を進めます。

公共交通機関の利用を促進し、適切な誘導サインを設置して円滑な移動を図ります。

会場運営

会場運営

ボランティア

- みんなガーデン
 - ・公共交通機関の利用を促進し、駅から会場までのサイン設置により誘導を図る。
- 里山ガーデン
 - ・公共交通機関の利用は、最寄り駅（中山駅、鶴ヶ峰駅、三ツ境駅）からの路線バスで運用を基本とする。
 - ・自家用車利用は、ズーラシアと連携した駐車場運営や交通対策を実施する。
 - ・徒歩通路は最寄り駅から約1km。土日祝日は中山駅周辺からのシャトルバスの運行を検討する。
 - ・子どもたちが乗り物を楽しみ幅広い年代の来場者が円滑に回遊できるよう、会場内の移動バスを運行。（有料）



全市展開



ボランティア

(ex)あいちフェア)

- 里山ガーデン
 - ・会場内花壇の植物維持管理補助を行なうボランティアを募集する。
 - ・ボランティアが植物の知識や植物管理の技術を身に付け、後の活動につながるよう、作業のアドバイスや研修等を実施する。
- よこはま動物園ズーラシアと運営、維持管理について、十分な連携を図り、実施する。
- 開園日は受けない。(案内所の開設時間は9時半～16時半)
- 会場運営本部
 - ・会場内に設置し、情報集約、発信等、全体の統括を行う。
 - ・運営本部を横浜赤レンガ倉庫1号館2階に設置する。(開設時間8時～22時)



市境のガーデンネットワークレスを実現



横浜の各地の魅力を発信



花と緑紹介ガイド
(ex)東京フェア)



花と緑祭り
(ex)あいちフェア)



小学校花壇(イメージ)



開会式
(ex)あいちフェア)



シンボルキャラクター展開による誘客展開
広報ツールの販売
公式グッズの販売
©TOON/GN2017

Garden Necklace YOKOHAMA 2017

国営昭和記念公園における 外国人利用を促進するための方策について

一般財団法人公園財団 公園管理運営研究所
開発研究部 研究員 尹 紋榮

卷首語
日 91.1.29(土) 10:00

新井市議会議員公明党議員会議事録 第1回定期会議(2月26日開会)第1回定期会議

新井市議会議員公明党議員会議事録
第1回定期会議(2月26日開会)

国営昭和記念公園における外国人利用を促進するための方策について

(筆者武田・丸元) 主査のたゞさるで、國立公園

委員会の問題の一環として、外国人園長による取扱い方策を示す。

(一般財団法人) 公園財団 公園管理運営研究所

開発研究部 研究員

尹 紋榮

コリアン人

この問題は、昭和記念公園の開園以来、常に議論の的となってきた。

(吉野吉洋) 昭和記念公園

は、昭和天皇の御大典の際に、日本政府が開園したのである。

この公園は、昭和天皇の御大典の際に、日本政府が開園したのである。

この公園は、昭和天皇の御大典の際に、日本政府が開園したのである。

I. 背景及び目的

昭和記念公園

は、昭和天皇の御大典の際に、日本政府が開園したのである。

昭和記念公園

は、昭和天皇の御大典の際に、日本政府が開園したのである。

昭和記念公園は、昭和天皇の御大典の際に、日本政府が開園したのである。

1. 背景及び目的

- ・ 訪日外国人数は1,973万人で過去最多を記録（2015年）。
 - ・ 東京都は観光・レジャーを目的に訪れた訪日外国人も増加。
 - ・ 今後、都内の都市公園においても訪日外国人の増加が予想される。
-
- 都市公園に対する対応の方向性（行政・自治体等）
 - ・ 国営公園を観光資源とし、外国人向けガイドツアーの開催やWi-Fi環境の整備等を推進。
 - ・ 海外への情報発信を強化するため、外務省や観光庁との連携。
 - ・ 案内サイン等で表記すべき外国語の種類や内容の明確化。
 - …etc

3

■現状の課題（委託管理者）

- ・ 来園前に求めている公園情報と入手方法等の現状把握。
- ・ 外国人来園者対応として管理センターが定めている様々な方針の中で、どれを優先的に現場へ反映するかの検討。
- ・ 文化や習慣が異なる外国人に対して、公園の利用ルール等の周知方法や内容の選定。

■ 対象地

- ・ 国営昭和記念公園

■ 目的

- ・ 外国人来園者、管理センター職員の視点から捉え、外国人利用を促進するための運営手法のあり方や改善案を提案。
 - ①事前情報発信 ②園内サービスの構築 ③利用ルールの周知

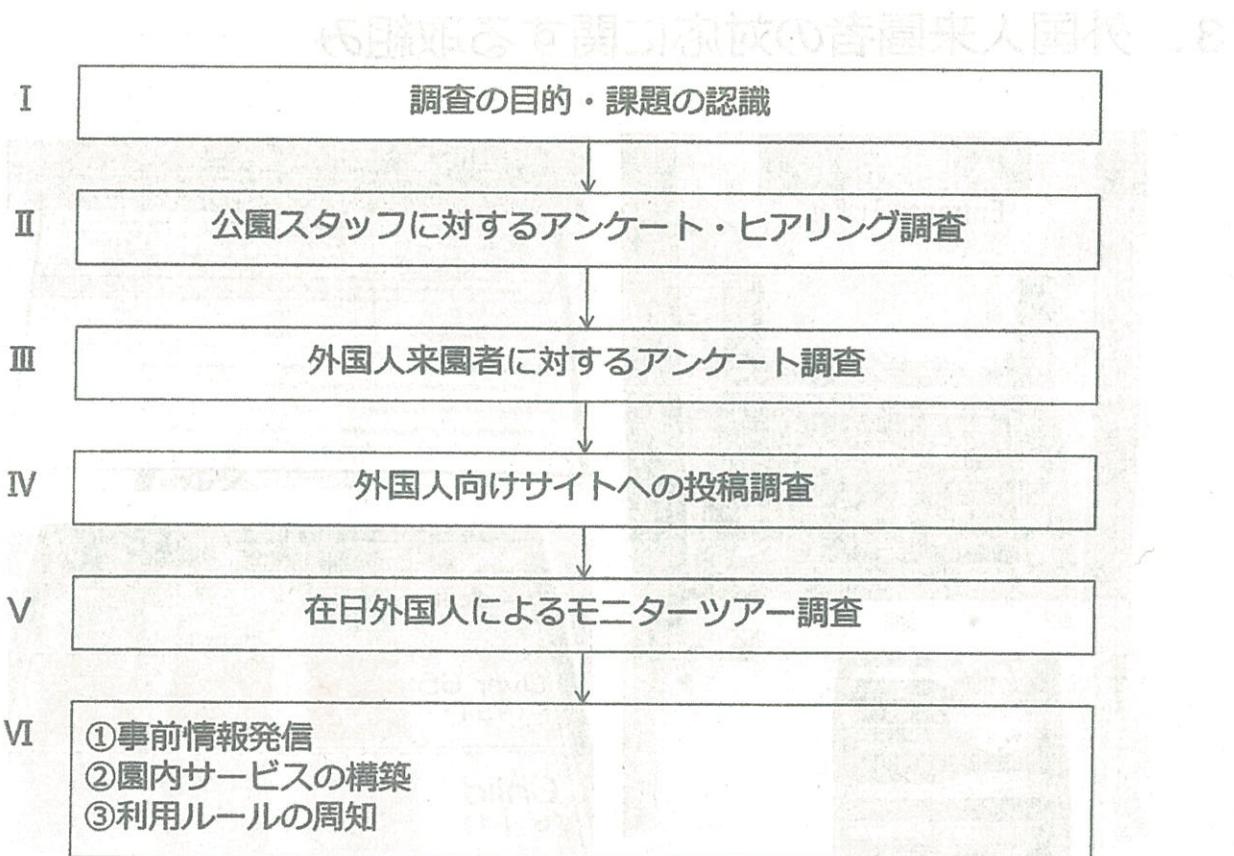


図1-1 調査の流れ

(韓・中・英・日) 外国人観光客の公園利用実態調査

5

2. 調査対象地の概要



図1-2 調査対象地

3. 外国人来園者の対応に関する取組み



写真1-2 自動券売機等ゲートでの多言語表記（日・英・中・韓）



写真1-3 案内サインの多言語表記（日・英・中・韓）



写真1-4 利用ルールの多言語表記（日・英・中・韓）



写真1-5 AED応急措置の多言語表記（日・英・中・韓）



写真1-6 園内マップ、パンフレットの多言語表記（日・英・中・韓）

11

Matters demand that special ATTENTION

- 1) Bicycle is allowed ONLY on bicycle trail.
自転車は自転車専用道路しか走れません。
- 2) Visitor can't (can not) walk (run) on the bicycle trail.
~~is not allowed to~~
自転車専用道路は歩く(走る)ことはできません。
- 3) Bicycle with 3rd wheel for children are NOT allowed on bicycle trail.
自転車専用道路では子供用三輪車では走れません。
- 4) Dogs are NOT allowed to run along with bicycle on the bicycle trail. Please keep them in the basket of bicycle.
自転車専用道路では犬は自転車と一緒に走ることができません。自転車のかごに入れてください。
- 5) Visitor is not allowed to walk (run) along with bicycle on the bicycle trail.
自転車専用道路では自転車と一緒に歩いたり(走ったり)することができます。
- 6) Visitor with bicycle can't (can not) enter (leave) the park from this gate. Please enter (leave) the park from bicycle gate.
自転車と一緒に入場はこのゲートから入れ(出られ)ません。自転車専用の入口からお入りください。

写真1-7 レンタサイクル利用者への配布物（日・英）

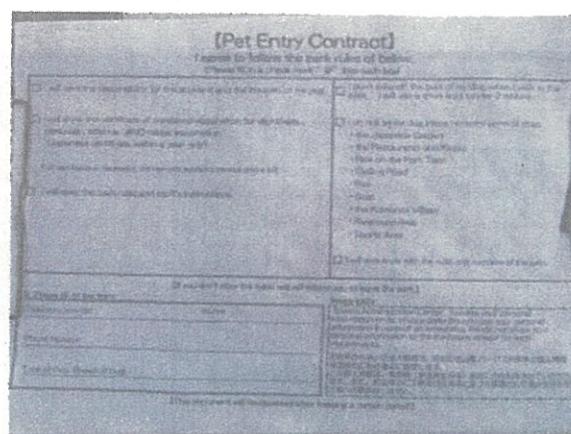


写真1-8 ペット同伴誓約書（日・英）

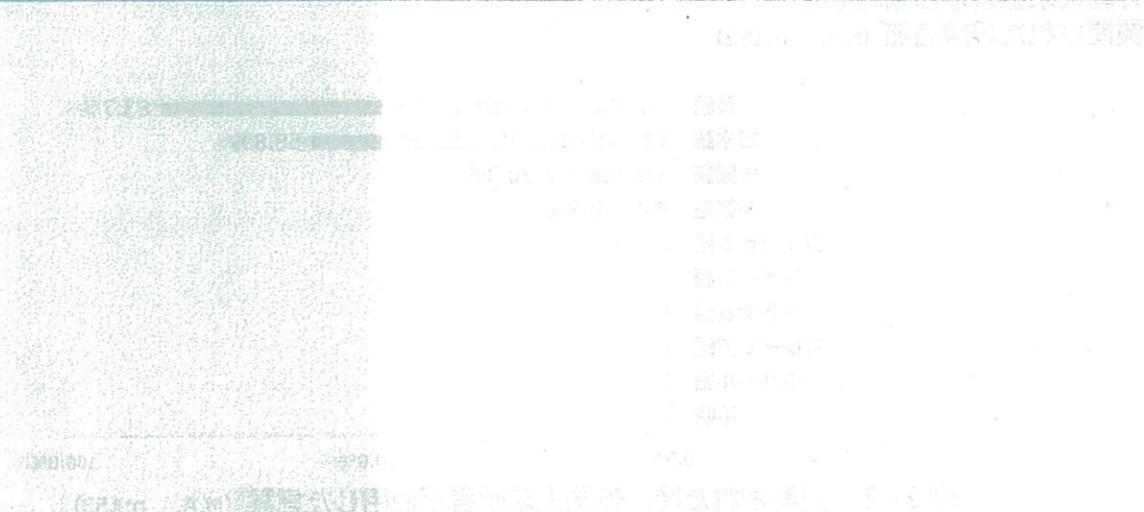


写真1-9 ipadの配置

20

12

Ⅱ. 公園スタッフに対するアンケート・ヒアリング調査



1. 調査の目的

■ 調査対象

- ・国営昭和記念公園の公園スタッフ

■ 目的

- ・外国人来園者対応の現状、対応時の問題の把握。

表2-1 調査の方法

調査方法	調査対象	調査内容	調査期間
アンケート調査	センター職員45人・現場スタッフ158人 計203人	<ul style="list-style-type: none">・回答者の属性・外国人来園者から質問された内容・外国人来園者に対応する際に困ったこと・外国人来園者に対応しやすくするための取組みについて・回収数：183票（90.1%）	2016年8月19日～31日
ヒアリング調査	ゲート2人・サイクルセンター2人・救護室1人 (勤務5年以上)	<ul style="list-style-type: none">・外国人来園者対応の課題について	2016年10月

2. 外国人来園者対応に関する認識

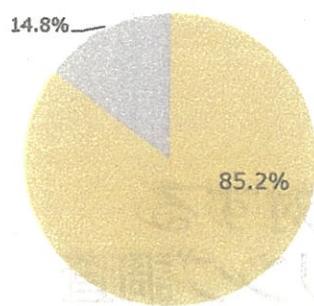


図 2-1 外国人来園者から園内で質問された経験有無 (S.A. n:182)

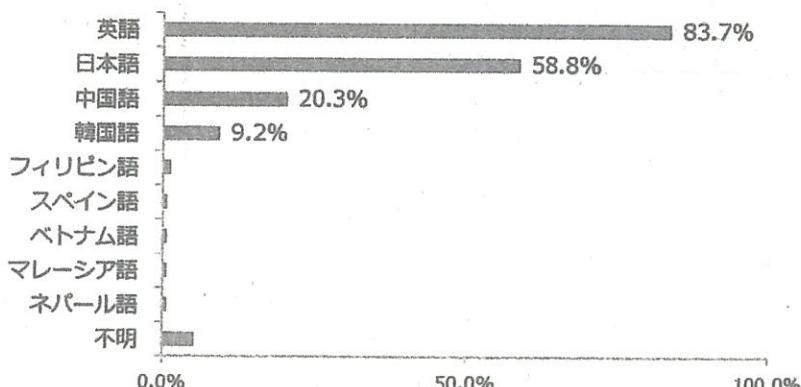


図 2-2 質問された時、外国人来園者が使用した言葉 (M.A. n:153) 15

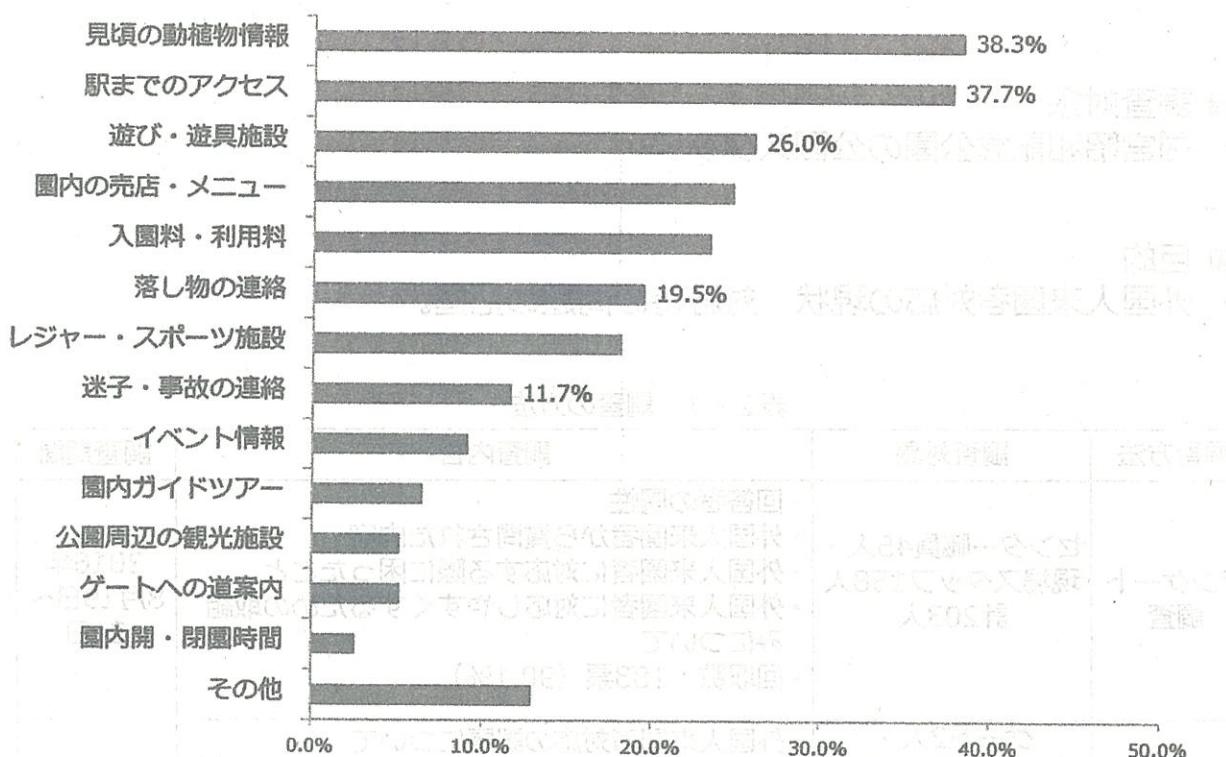


図 2-3 外国人来園者からの質問内容 (M.A. n:153)

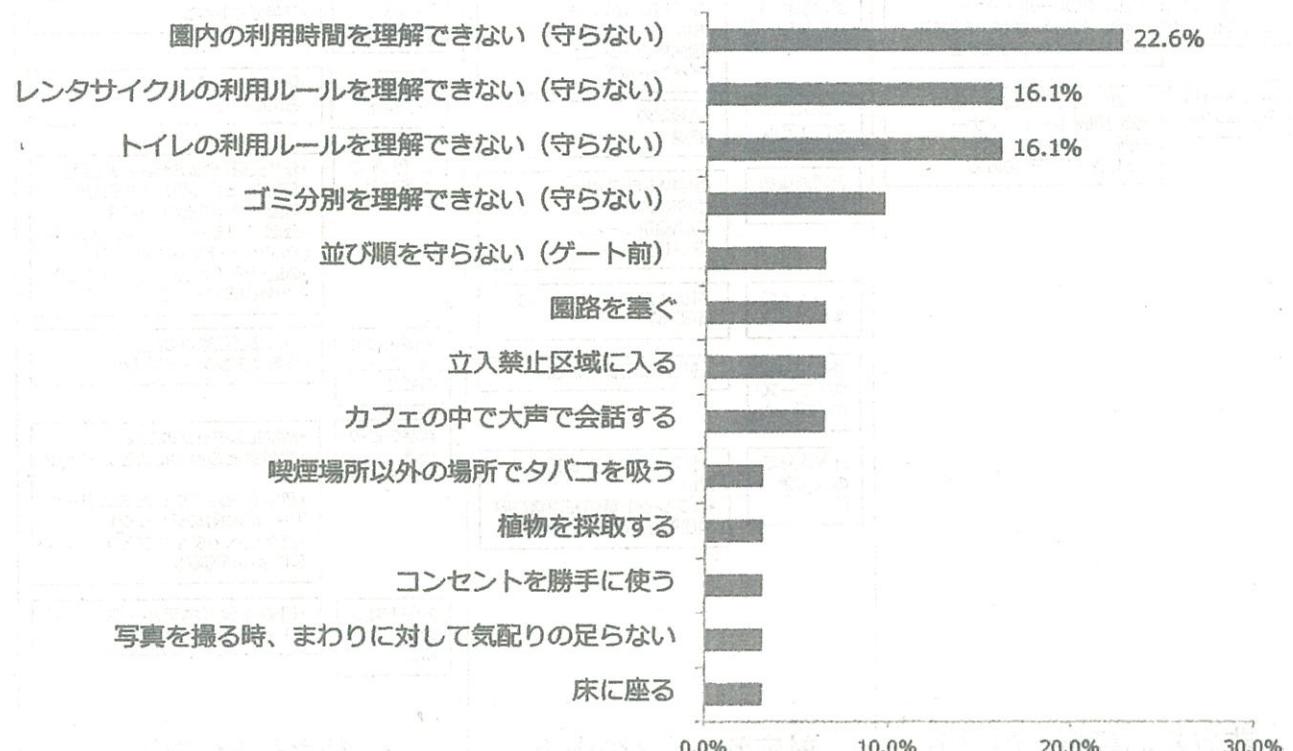


図2-4 外国人来園者対応時に、困ったこと (F.A. n:31)

3. 外国人来園者に対応しやすくするための取組みの方向性

- 今後、外国人対応に必要な取組み35項目を対象。
- 必要と思われる項目（必要性）
- 対応の緊急性（実施時期）

問9. 以下は、外国人来園者にに対応しやすくするための取組み（小分類）の例です。あなたが、必要であると思われる項目は何ですか（必要性）。また、いつ頃から実施すれば、外国人対応に役に立つと思いますか（実施時期）。項目毎に当てはまる番号1つに○を付けてください。

項目	A. 必要性（1つだけ）				B. 実行時期（1つだけ）			
	必要である 必要ない どちらともいえない	どちらともいえない 必要である	必要である どちらともいえない	どちらともいえない 必要である	必要である どちらともいえない	どちらともいえない 必要である	どちらともいえない 必要である	どちらともいえない 必要である
(例) 園内売店・メニュー	5	4	3	2	1	3	2	1
<案内情報の多言語化>								
園内売店・メニュー	5	4	3	2	1	3	2	1
街木・花等植物情報	5	4	3	2	1	3	2	1
遊具等の施設情報	5	4	3	2	1	3	2	1
イベント情報	5	4	3	2	1	3	2	1
周辺観光施設情報	5	4	3	2	1	3	2	1
お土産情報	5	4	3	2	1	3	2	1
公園利用ルール・マナー	5	4	3	2	1	3	2	1
事故・災害発生時の避難方法	5	4	3	2	1	3	2	1
怪我・発生時の連絡方法	5	4	3	2	1	3	2	1
<情報伝達機器等の整備>								
無線 Wi-Fi スポット	5	4	3	2	1	3	2	1
電話通訳サービス	5	4	3	2	1	3	2	1

図2-5 アンケート用紙
23

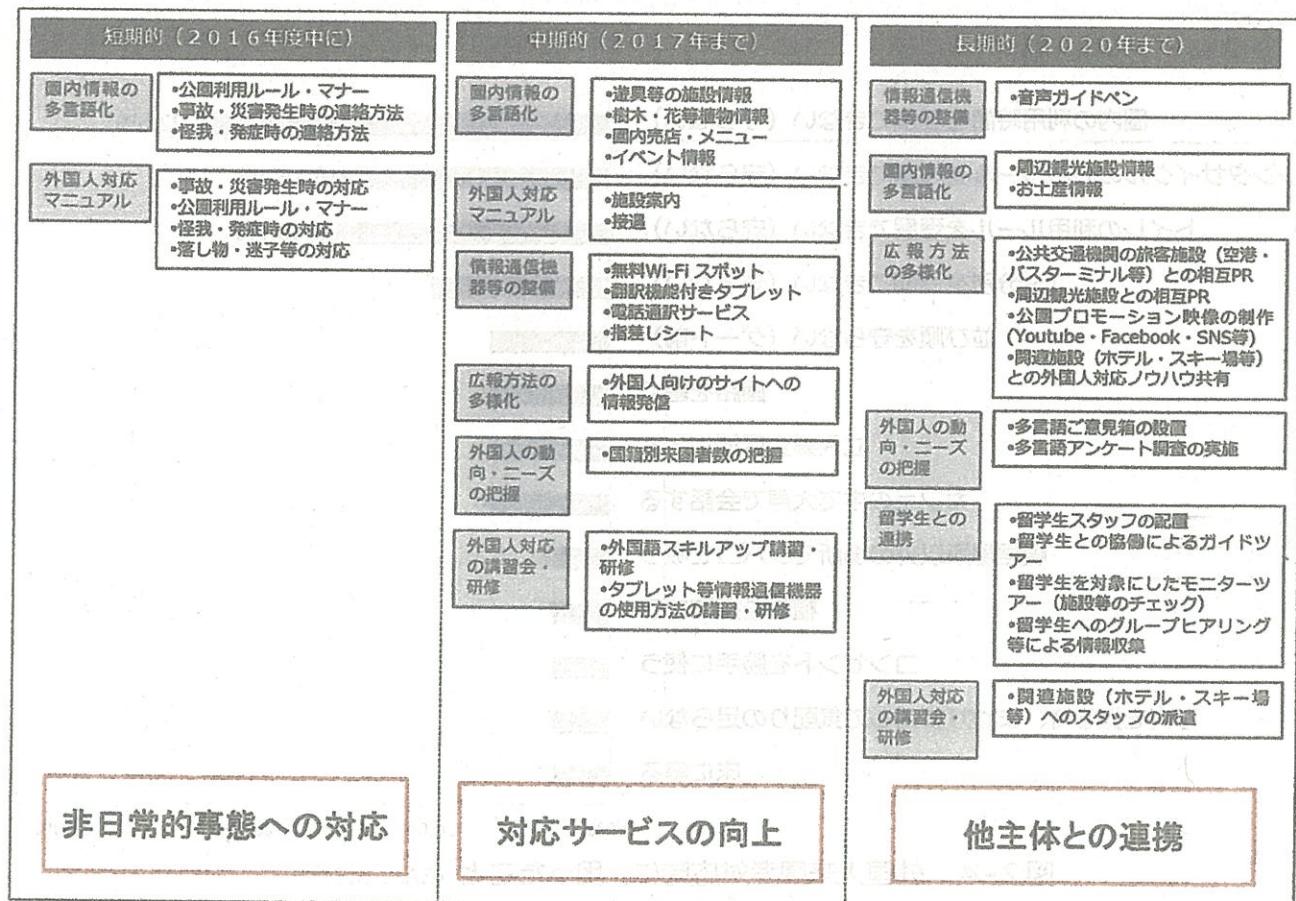


図2-6 今後、実際に望まれる取組み

19

4. 現場スタッフへのヒアリング

1) ゲート

認識

（右）認知（左）感覚

サービス提供

- ・（配備された）翻訳機能付きタブレットの操作が複雑で使用できない。
- ・砂川口には山金アメリカ村がありアメリカ人の利用が多いため、語学力が求められる。
- ・障がい者のお客様に対する説明、対応が難しい。

- 利用ルール
- ・歩行者専用園路と自転車の出入り口が一緒のゲートでは、間違って歩行者専用園路に入る外国人来園者が多い。
 - ・スタッフが少ないため、利用上の案内や注意が十分にできない（自転車利用者がコース外を走行した際など）
 - ・ベビーカーの貸出しルールに関する案内が難しい。
 - ・持込禁止物品の説明や一時保管等のサービスを案内することが難しい。

2) サイクルセンター

認識

民間のルートマーク等で守られていない自転車の内規

- サービス提供
- 一部のサイクルセンターでは、外国語表記等が整っていない。
 - サイクルセンターにも、翻訳機能付きタブレットを設置してほしい。
 - マウンテンバイク・電動自転車・ママチャリ等色々な種類の自転車があり、種類別の利用説明が難しい。
 - 秋にはインドネシア、タイ等熱帯の東南アジアのお客様が最も多いため、その対応が難しい。

緊急事態における施設内案内図の充実度

- 利用ルール
- 自転車の返却は、借りた場所に返すことがルールであるが、守られていない。
 - 自転車を返却する際に利用時間を確認（時間制の方は超過料金が発生）するため、チケットを見せて無くさないように伝えるが、守られていない。
 - 注意事項等については、英語だけでなく中国語や韓国語も必要である。

21

3) 救護室

認識

- サービス提供
- 怪我や病状を確認する際に、英語でのコミュニケーションが難しい。
 - 薬アレルギー、既往歴の有無等が簡易に把握できるツールがほしい。
 - 薬の使用方法、注意事項に関する外国語の説明文がほしい。
 - 搬送システムサービスを有効に活用できるよう公園マップ等に表記してほしい。
 - 看護師の配置場所について、繁忙期は通常と異なる場合があるため、マップ等に表記してほしい。

5. まとめ

- ・ 園内の利用時間、サイクルやトイレの利用ルールの周知
- ・ 一部の施設では、外国語表記やピクトグラム等が不足
- ・ 自転車の乗入れが可能なゲートでは、歩道への誤走行が発生
- ・ 公園の利用ルール、怪我等の非日常的事案への対応改善を要望
- ・ 自転車の貸出ルール、薬アレルギー等に関する表記など、確定すべき事については指差しシートなどを要望

23

III. 外国人来園者に対する アンケート調査

1. 調査の目的

■ 調査対象

- 外国人来園者

■ 目的

- 外国人来園者向けの案内サービスに対する認識の把握。

表 3-1 調査方法

調査方法	調査内容	調査期間
アンケート 調査	・回答者の属性 ・公園の認知手段 ・来園理由 ・来園する前に公園について調べた項目等 ・回収数：291票	2016年5月16日 ～22日 11時～16時 (17日雨天中止)

アンケート調査票：英語・中国語（簡体字・繁体字）韓国語



写真 3-1 アンケート調査の様子

2. 案内サービスに関する認識

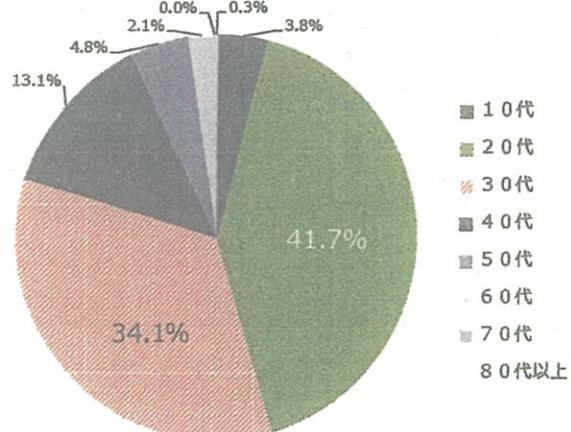


図 3-1 年齢 (S.A. n:290)

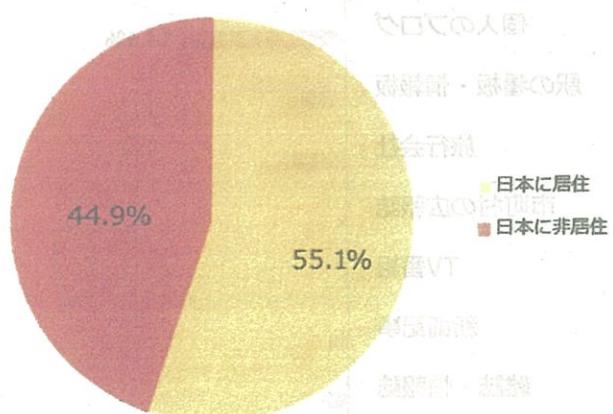


図 3-2 滞在類型 (S.A. n:285)

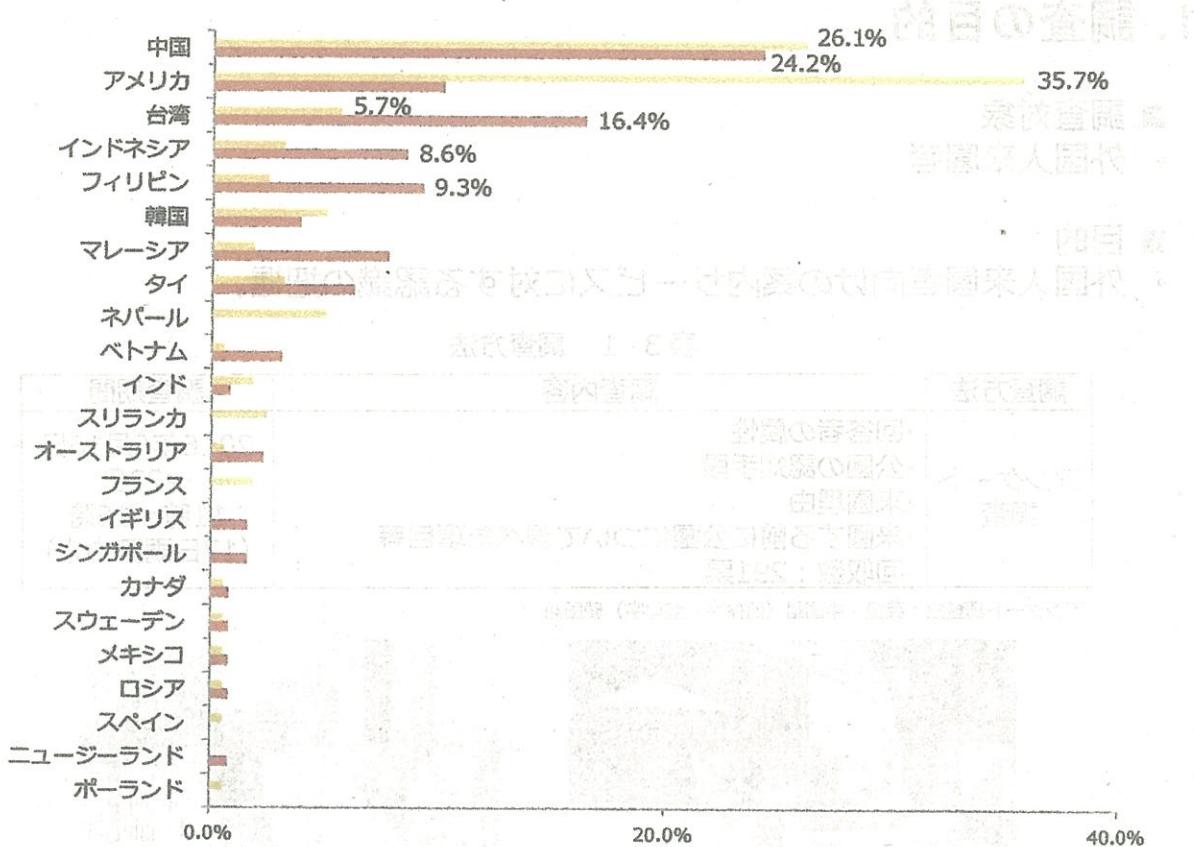


図3-3 国籍別外国人来園者の数 (S.A.) ■在日外国人 (n:157) ■訪日外国人 (n:128)

27

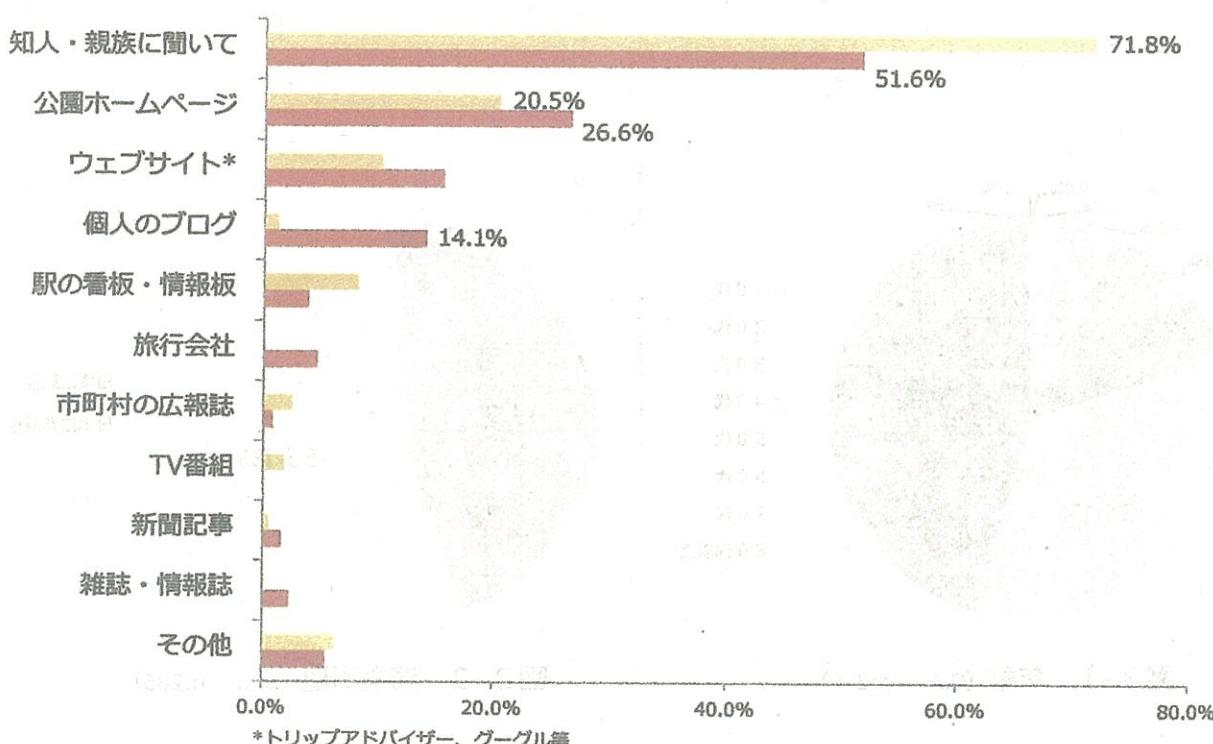


図3-4 公園の認知手段 (M.A.) ■在日外国人 (n:157) ■訪日外国人 (n:128)

28

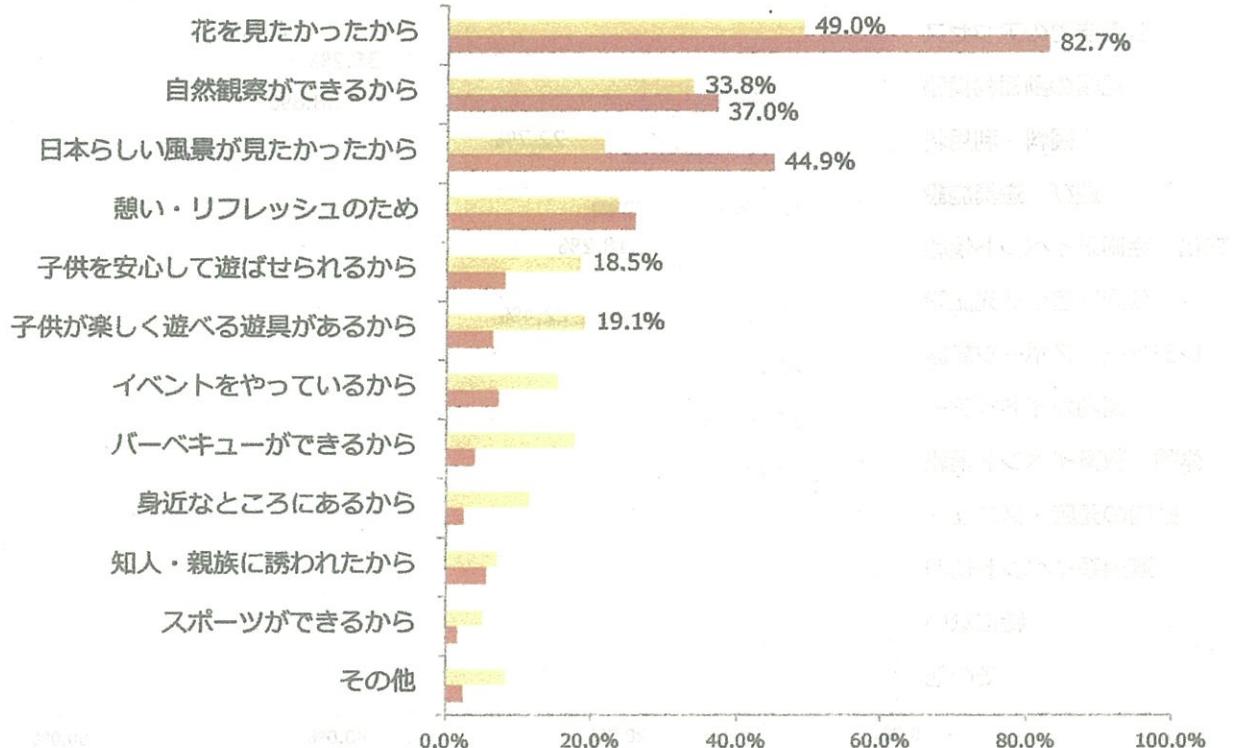


図3-5 来園理由 (M.A.) ■在日外国人 (n:157) ■訪日外国人 (n:127)

29

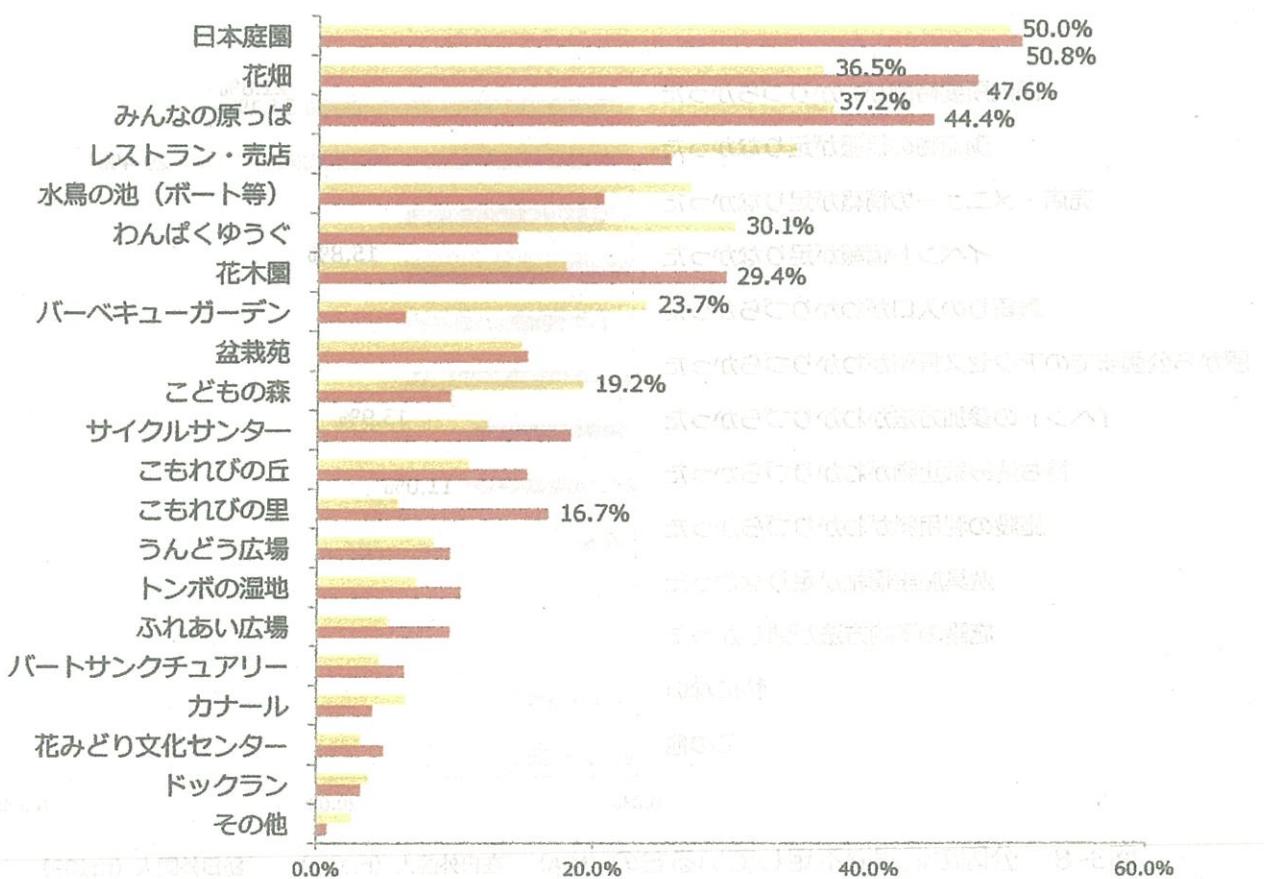


図3-6 利用したまたは利用する予定の施設 (M.A.) ■在日外国人 (n:156) ■訪日外国人 (n:126)

29

30

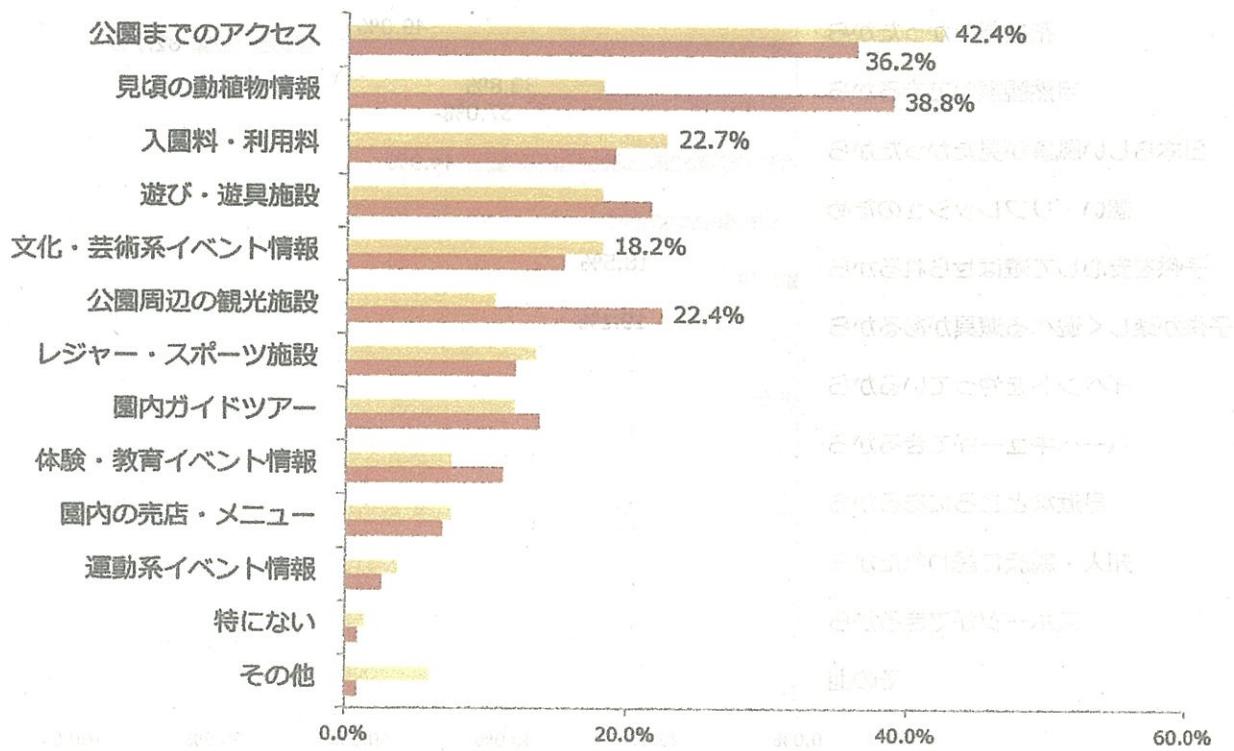


図3-7 来園前に公園について調べた情報 (M.A.)

■在日外国人 (n:132) ■訪日外国人 (n:116)

31

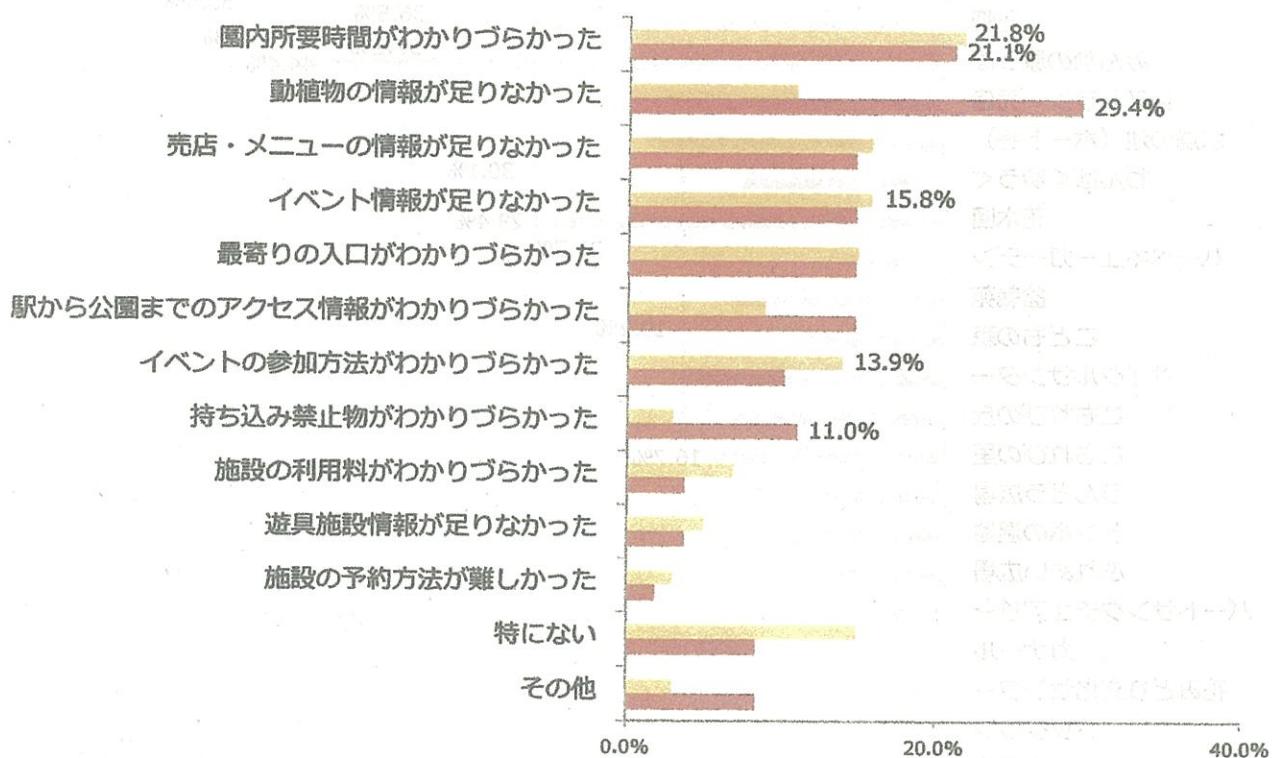


図3-8 公園の情報で不足しているもの (M.A.) ■在日外国人 (n:101) ■訪日外国人 (n:109)

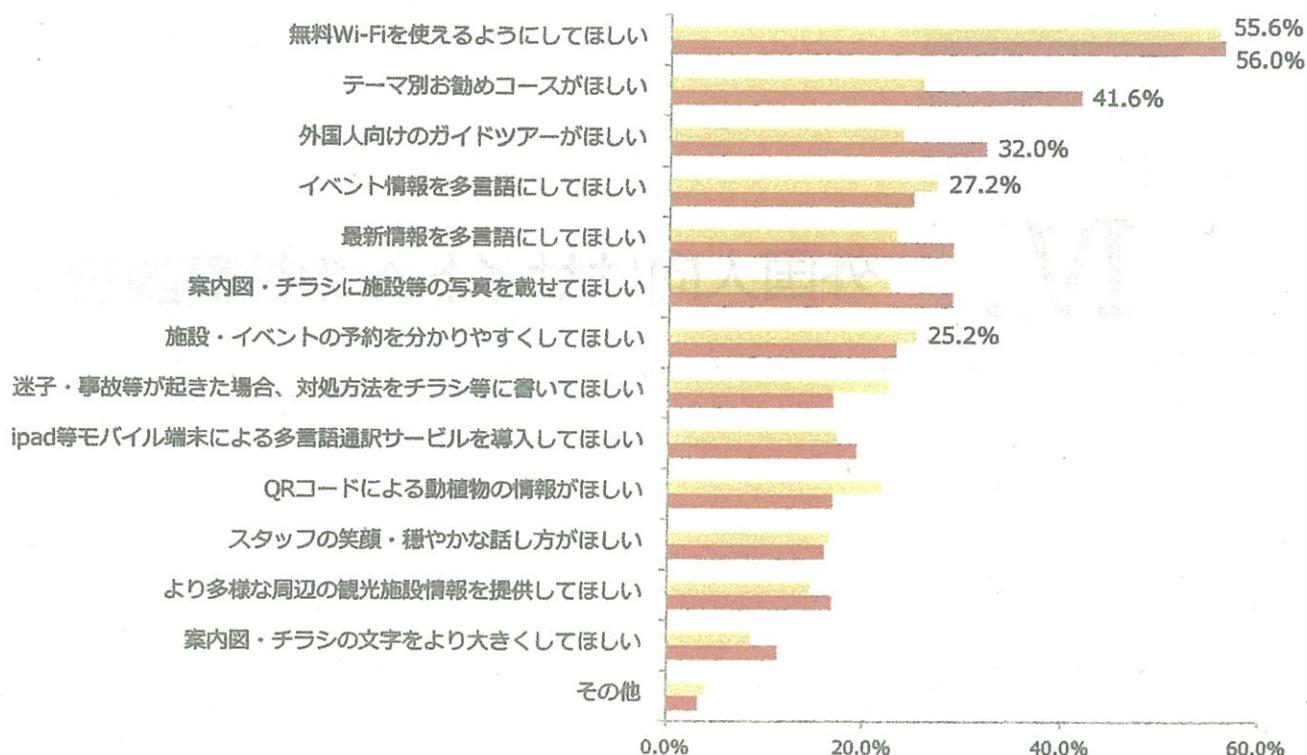


図3-9 園内をより利用しやすくするために必要なこと (M.A.)
■在日外国人 (n:151) ■訪日外国人 (n:125)

33

3.まとめ

在日外国人	訪日外国人
・20~30代の年齢層が7割以上で、知人や親族の口コミにより来園	・花や自然観察、日本らしい風景を求めて来園
・花や自然観察、子どもが楽しめる施設、イベント参加を求めて来園	・花や自然観察、日本らしい風景を求めて来園
・園内所要時間やイベント情報不足 ・イベント情報の多言語化、施設やイベントの要約方法を希望	・園内所要時間や動植物の情報不足 ・テーマ別お勧めコース、ガイドツアーを希望

IV.

外国人向けサイトへの投稿調査

1. 調査の目的

■ 調査対象

- 在日外国人（韓国人、主に留学生）

■ 目的

- 外国人が興味を持つ情報の抽出。

表4-1 調査の方法

調査方法	調査内容	調査期間
Web(*注1)上での 情報発信	<ul style="list-style-type: none">• 花の情報• 運動系イベント• 体験・教育イベント等 <p>計38回のイベント情報を投稿 (問い合わせの書き込みに回答)</p>	2016年 5月～11月

*注1) ポータルサイトダム (Daum) の「東京留学生会」

会員数：201,883人（2016年11月現在）

<<http://cafe.daum.net/japantokyo/>>



写真 4-1 投稿した記事の例 (左 : 日本語, 右 : 韓国語)

37

2. 結果

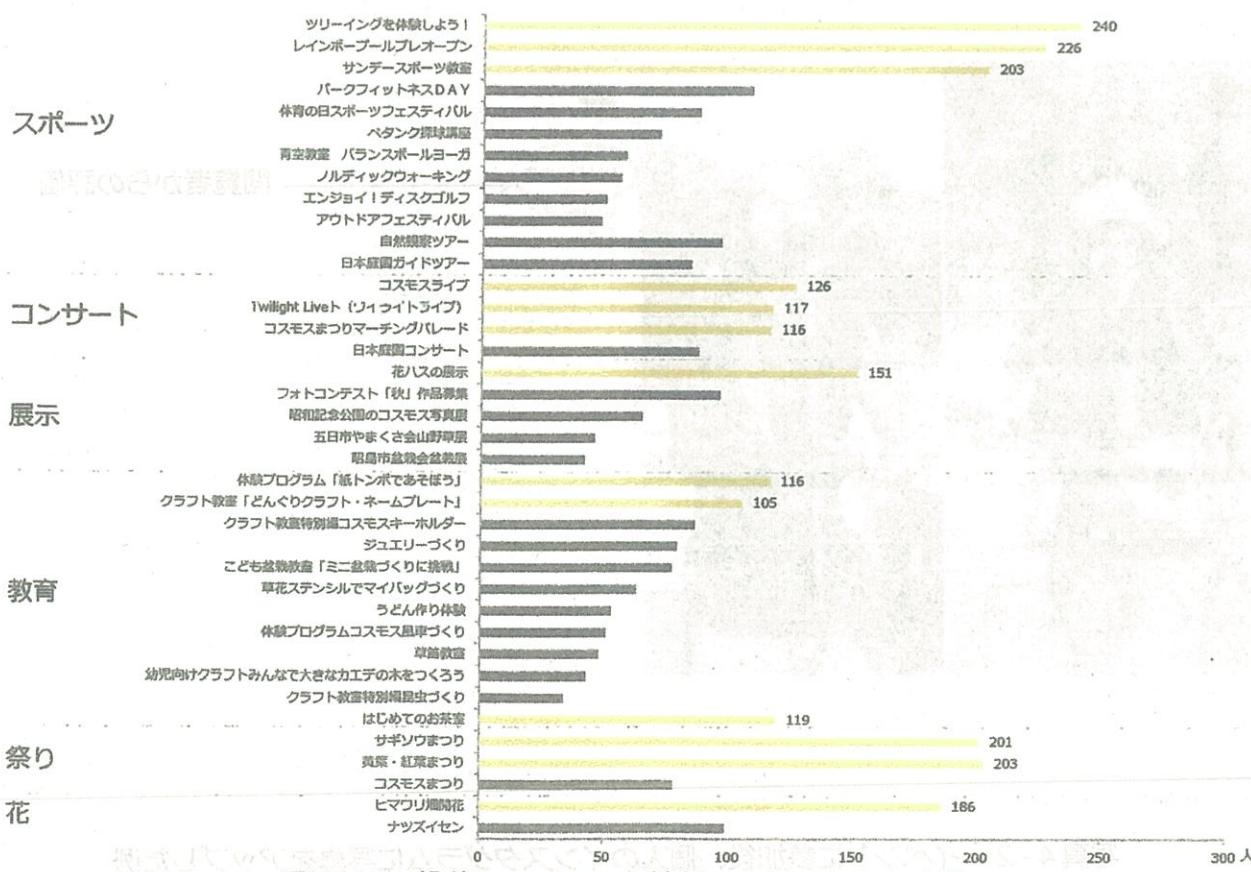


図 4-1 投稿したイベント情報にクリックした人数

38



ツリーイング



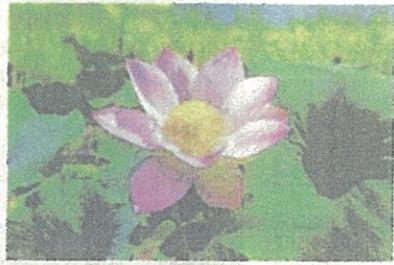
レインボーブール

初心者
大歓迎

コスモスライブ



マーチングパレード



花バス



ヒマワリ



サギソウまつり



黄葉・紅葉まつり

写真 1-1 クリック数が多がった情報

◎ Instagram



いいね！15件 閲覧者からの評価

kidskkg... 稲和記念公園 おはようございます。今日は朝から天気がいいですね。公園で散歩したり、子供たちと一緒に遊んだりして過ごしました。お天気も最高で、気持ちいい一日になりました。また来たいです。

kidskkg... おはようございます。今日は朝から天気がいいですね。公園で散歩したり、子供たちと一緒に遊んだりして過ごしました。お天気も最高で、気持ちいい一日になりました。また来たいです。

いいね！15件 閲覧者からの評価

kidskkg... 稲和記念公園 おはようございます。今日は朝から天気がいいですね。公園で散歩したり、子供たちと一緒に遊んだりして過ごしました。お天気も最高で、気持ちいい一日になりました。また来たいです。

kidskkg... おはようございます。今日は朝から天気がいいですね。公園で散歩したり、子供たちと一緒に遊んだりして過ごしました。お天気も最高で、気持ちいい一日になりました。また来たいです。

いいね！15件 閲覧者からの評価

kidskkg... 稲和記念公園 おはようございます。今日は朝から天気がいいですね。公園で散歩したり、子供たちと一緒に遊んだりして過ごしました。お天気も最高で、気持ちいい一日になりました。また来たいです。

いいね！15件 閲覧者からの評価

kidskkg... 稲和記念公園 おはようございます。今日は朝から天気がいいですね。公園で散歩したり、子供たちと一緒に遊んだりして過ごしました。お天気も最高で、気持ちいい一日になりました。また来たいです。

写真 4-2 イベントに参加後、個人のInstagramに写真をアップした例



• 백상우

경로복 활동에서 주말에 하는거 있고 봄철? 했었는데 이거 중요. 장비는 아무것도 없어 출판가면 되는걸까요?

装備なしで手ぶらで行っても良いですか？



• 미금도교장

타치카와열 아카시마에서 살고있는 워홀러입니다. 제빛을께 갈네요!!~

昭島に住んでいるワーホリです。
おもしろそうです。

• 카페디에스카

경로복날도 하면 거죠? 이민주는 추운도 있으니, 가보고 싶네요 좋은 경로 고맙습니다

敬者の日々やりますか？

今週は秋分の日もあり、行きたいです。
良い情報ありがとうございます。



• 고양고방여

우와~ 보건 가고 싶습니다! 좋은 경로 감사드립니다~!

見に行きたいです。
良い情報ありがとうございます。

写真 4-3 問い合わせの書き込みの例

41

3. まとめ

- ツリーイング、プールプレイオーブンなどのイベントに興味がある
- ライブ、マーチングなど音楽系イベントに興味がある
- サギソウまつり、紅葉まつりなど花に関するイベントに興味がある
- イベントに参加した後、個人のインスタグラムに投稿し、そこから知人等への情報発信につながる

開催場所	会場内	会場外
(1) 日吉駅前通り JR日吉駅前 日吉駅前通り	全緑道能率の本店直隣へて一歩二歩 歩くと左側にそびえ立つ小山公	一歩二歩二歩 会場横山
(2) JR日吉駅前通り 日吉駅前 日吉駅前通り	日吉駅前直隣公衆トイレへて一歩二歩 歩くと左側にそびえ立つ小山公	一歩二歩二歩 会場横山
(3) 日吉駅前通り JR日吉駅前 日吉駅前通り	日吉駅前直隣公衆トイレへて一歩二歩 歩くと左側にそびえ立つ小山公	一歩二歩二歩 会場横山

V. 在日外国人によるモニターツアー調査

43

1. 調査の目的

■ 調査対象

- 留学生（千葉大学園芸学研究科）
- インドネシア3名、韓国2名、中国1名：計 6名

■ 目的

- 外国人来園者に向けた効果的な利用案内、ホスピタリティ等を把握。

表5-1 調査方法

調査方法	調査内容	調査期間
モニターツアー事前説明会	<ul style="list-style-type: none">モニターツアー調査方法の事前説明会公園ホームページに関する認識	2016年11月9日（水） 14:30～18:00
モニターツアー	<ul style="list-style-type: none">園内の情報収集等調査を実施 (パークトレイン、日本庭園、盆栽苑、西立川口、レンタサイクル、中央売店、こもれびの里等)	2016年11月13日（日） 10:00～16:30
インタビュー調査	<ul style="list-style-type: none">モニターツアーのとりまとめ	2016年11月13日（日） 17:00～18:30

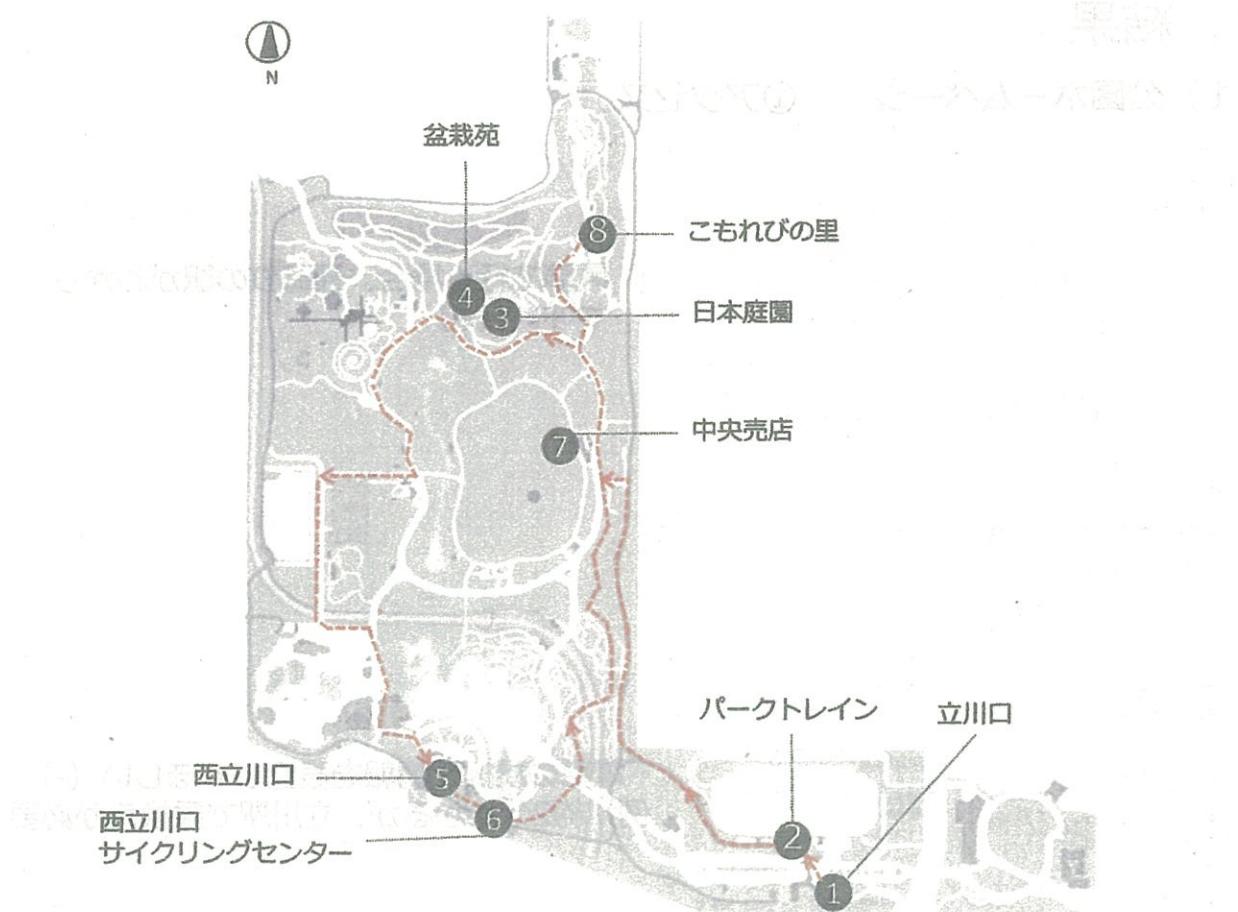


図5-1 モニターツアーコース

45



写真5-1 モニターツアー事前説明会の様子



写真5-2 モニターツアーアイデア調査の様子

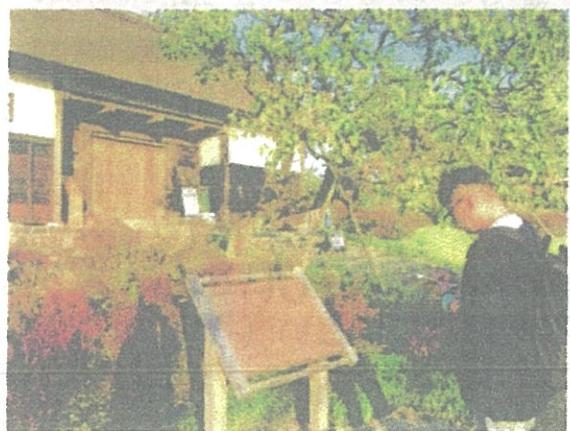


写真5-3 モニターツアーアイデア調査の様子

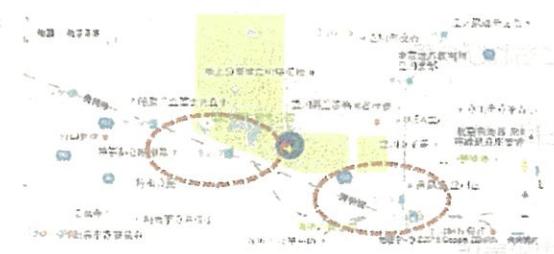


写真5-4 インタビュー調査の様子

2. 結果

1) 公園ホームページ ①アクセス

アクセス



電車で行く

電車で来る場合は、立川駅から徒歩約10分です。

園内マップはこちら

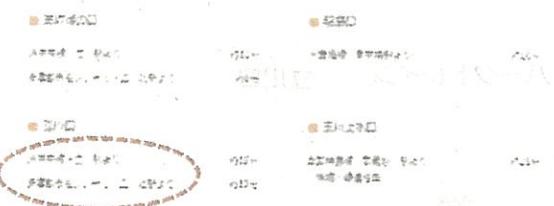


写真5-5 公園ホームページでの表記

- 電車で行く場合、最寄りの駅がわかりやすい (+)

- 電車の乗換え情報を表記してほしい (-)
例) 約2分かかるが、立川駅で乗換えが必要

47

②公園内持込禁止品

公園内持込禁止品

園内規則（対象遊具等）のご案内

園内規則（対象遊具等）の名前	一般規定	専用規則	備考
タバコ（喫煙）	×	○	園内の所定（喫煙室）場所のみ喫煙可能です。 ▶ 喫煙室案内図（PDF）
銃遊び用（モルタル、木刀、竹刀を含む）	×	×	
フーメン、弓矢、アーチャー	×	×	
弓射箭、エンシアン式弓箭（ラシンコン等）	×	○	ハローンを含む
気球用リット・ポート紙	×	×	
槍馬等、短太刀剣道具、竹の道真似	×	×	
大型・合風組合意匠	×	○	
煙草	×	○	
ゴルフ用器具	×	×	
釣り用器具（網等を除く）	×	○	うんどう広場のみ
火（スポーツカイト・大型の火を除く）	×	○	みんなの涼っぽのみ ただし、日向原立川和花火が開催しているため、高さ制限（4.8m）があります。
刃物用のホント	×	○	うんどう広場のみ
爆発物、引火油の高い花火、火薬、火薬類のガス管、液体燃焼及び火を生ずる器具類（イヘン等での使用を除く）	×	×	
一時屋	○	○	一時屋コースのみ
バグ露天芝生野球	○	○	サイクリングクロード・日本庭園を除く
三輪車	○	○	サイクリングクロード・日本庭園を除く
自転車用遮蔽装置	○	×	サイクリングクロード・日本庭園を除く 下記のいずれかにあてはまるもの ・高さ180cm以上 ・幅80cm以上 ・斜面走行用のものを除く
立ち看板等	○	○	



写真5-7 園内での掲示板

- 読み方を書いてほしい (-)
- 写真を載せてほしい (-)
- まず、英語verをつくって欲しい (-)

写真5-6 公園ホームページでの表記

2)園内

展示館・園芸本部◎

①ゲート



写真5-8 立川口ゲート



写真5-9 自動券売機

- ・園内マップ、日本庭園等の施設情報が目につくところにある (+)
- ・公園内持込禁止品等の利用ルール情報がまとまって置いてあり、わかりやすかった + (+)

49

展示館◎



写真5-10 ゲートでの掲示

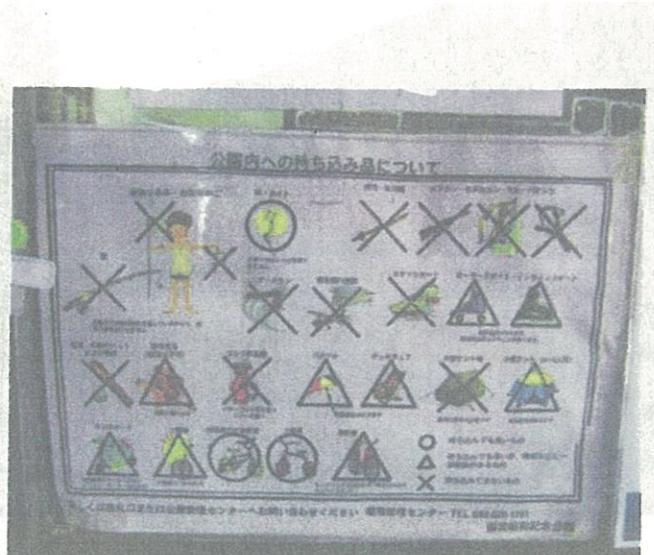


写真5-11 サイクルセンターでの掲示

- ・持込み禁止品のピクトグラムが、掲示場所によって異なる (-)
- ・母国では三角を使わないため、三角が何を意味するか分かりにくい (-)

②日本庭園・盆栽苑

内閣(5)

ナード①



写真5-12 盆栽の楽しみ方の掲示



写真5-13 盆栽の樹形の掲示

- (+) サービスをさらに丁寧自然体験式の多面観本にててア内閣
・盆栽の樹木名、指定樹齢等の内容がわかりやすい (+)
・盆栽のつくり方、盆栽の三要素等の内容がわかりやすい (+)

51

③売店



写真5-14 売店の様子



写真5-15 メニュー

- ・支払が現金のみ (-)
・英語表記があるところとないところがあるため、アレルギーや宗教的理由で食べられない物（飲んではいけない物）がわかりにくい (-)
・国営昭和記念公園限定のお土産がわかりにくい (-)

3.まとめ

第六章 結論

- 公園ホームページで、アクセスのページには乗換え情報、持込禁止品のページにはピクトグラムや写真が必要
- 園内持込禁止品のピクトグラムで、三角表記の意味は理解しにくい
- 園内持込禁止品や売店のメニューなどにおいて、表示の統一が必要

問題のへきせん表

大園表日本

大園表日本

問題のへきせん表

大園表日本
問題のへきせん表

53

問題のへきせん表

大園表日本

大園表日本

(会員登録) へきせん表

VI.

総合考察

（大園表日本、日付で表示された年月日）
問題のへきせん表

1. 事前情報発信

■ 公園ホームページ

在日外国人	訪日外国人
<ul style="list-style-type: none">・ アクセス →入口の最寄り駅までの乗換え情報、駅からの距離を多言語で表記・ 公園内所要時間を表記・ 公園内持込禁止品 →ピクトグラムを表記	
<ul style="list-style-type: none">・ テーマ別お勧めコース情報（半日以上） →イベント体験を含んだコース	<ul style="list-style-type: none">・ テーマ別お勧めコース情報（4時間以内） →日本庭園、盆栽苑、こもれびの里等 日本の風景コース →チューリップ、花木園等花コース等

■ 外国人サイトへの投稿

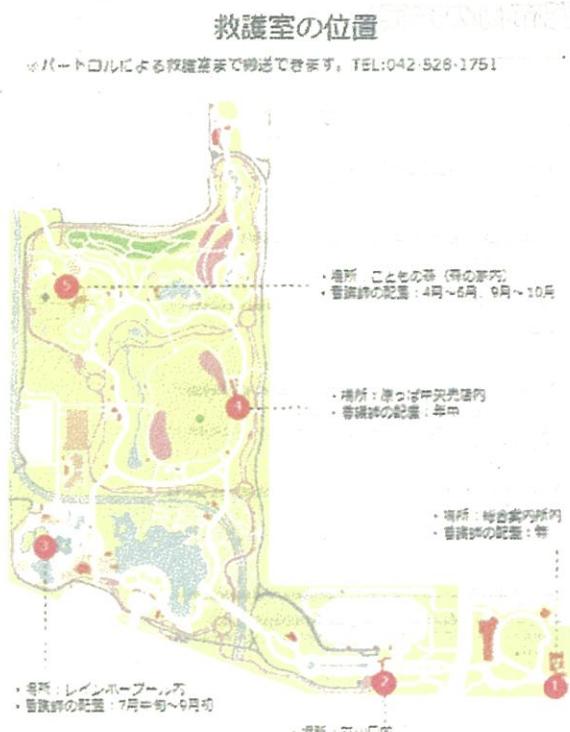
在日外国人	訪日外国人
<ul style="list-style-type: none">・ 20~30代をターゲットにしたイベント情報が必要	
<ul style="list-style-type: none">・ ライブ、マーチングなどコンサート情報・ 紅葉まつりなど植物イベント情報	<ul style="list-style-type: none">・ 日本庭園、盆栽苑、こもれびの里等、日本らしい風景・ イチョウ並木など紅葉風景

55

2. 園内サービスの構築

在日外国人	訪日外国人
<ul style="list-style-type: none">・ イベント情報（当日受付できる場合） →案内放送を活用	<ul style="list-style-type: none">・ ガイドツアーの実施 →日本庭園・こもれびの里（春・秋） →イチョウ並木（秋のみ）
<ul style="list-style-type: none">・ レストラン・売店での対応 →宗教、ベジタリアン、食材のアレルギーなどに対応できる表記・ 怪我や発症時の対応（在日・訪日外国人） →看護師の配置場所、搬送サービス等を含んだ情報の提供 →薬のアレルギー、ぬり薬やはり薬の使用方法等、家やホテルに帰っても注意すべき項目がわかる指差しシートの作成	

・怪我や発症時の対応の例



► Where does it hurt?
身体が痛いのはどこですか？

Fever

headache

stomachache

dizziness

chill



Other

↓ Please write the symptoms.
症状を書いてください。



► Please show me the injury.
怪我を教えてください。

【追加すべき指差しシート項目】

- 既往歴（血圧が高い、アレルギー体質等）はありますか？
- 汗や水分をふき取ってから使ってください。
- ぬった後に乾かしてください。
- 冷やして（暖めて）ください。
- 入浴（運動・飲酒）を控えてください
- etc

57

3. 利用ルール

在日外国人	訪日外国人
<ul style="list-style-type: none"> 空間的特徴を考慮した対応が必要 <ul style="list-style-type: none"> ①園内全体 →自転車専用道路と歩行者専用園路の分岐点ではピクトグラムや多言語を掲載 ②砂川口 →山金アメリカ村との隣接したゲートでは、英語が得意な公園スタッフを配置、英語表記の充実 施設毎に統一された看板の設置が必要 →現場スタッフに配置場所の変更があっても、適切に対応 →外国人来園者に正しい公園利用ルールの周知 	

在日外国人

訪日外国人

・サイクルの利用ルールの周知（現地の表示、配布物の充実）



Matters demand that special ATTENTION

- 1) Bicycle is allowed ONLY on bicycle trail.
自転車は自転車専用道走行に限ります。
- 2) Visitor can't (can not) walk (run) on the bicycle trail.
自転車専用道にて歩くことはできません。
- 3) Bicycle with 3rd wheel for children are NOT allowed on bicycle trail.
子供用自転車にて走行することはできません。
- 4) Dogs are NOT allowed to run along with bicycle on the bicycle trail. Please keep them in the basket of bicycle.
犬は自転車と一緒に走ることはできません。自転車の籠に入れてください。
- 5) Visitor is not allowed to walk (run) along with bicycle on the bicycle trail.
自転車専用道にて歩くことはできません。
- 6) Visitor with bicycle can't (can not) enter (leave) the park from this gate. Please enter (leave) the park from bicycle gate.
自転車と一緒に公園へ入る時は自転車門より入ることをめざしてください。

【追加すべき項目】

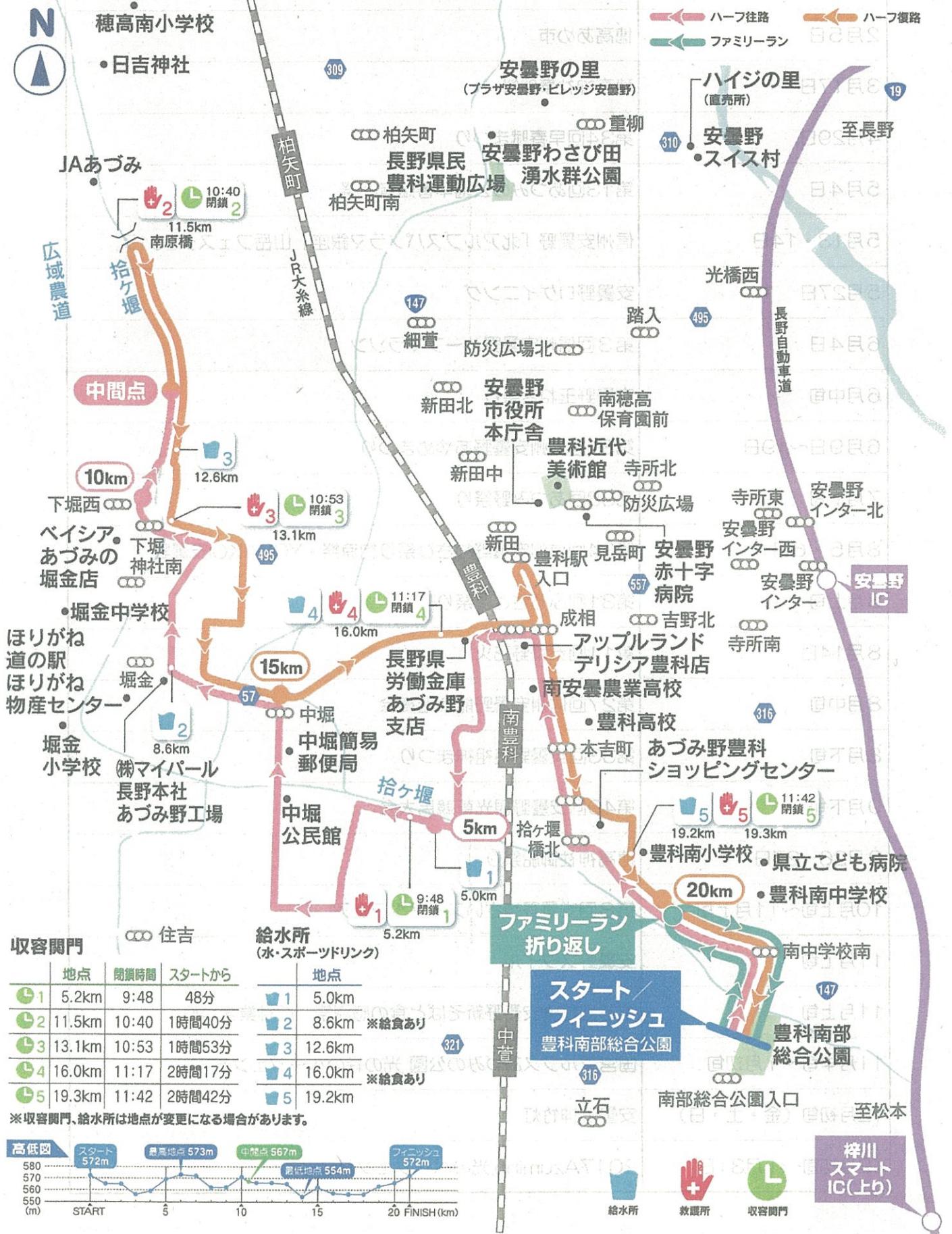
- ・自転車は借りた場所に返してください。
- ・利用時間を確認するため、チケットを捨てないでください。・etc

59

平成29年安曇野市イベント(2017予定)

開催日	行事名
1月14・15日	豊科あめ市・福俵曳き
2月5日	穂高あめ市
3月17日	穂高神社奉射祭
4月29日	第34回早春賦まつり
5月4日	第13回あづみの公園早春賦音楽祭
5月13・14日	信州安曇野「北アルプスパノラマ銀座」山岳フェスタ2017
5月27日	安曇野ロゲイニング
6月4日	第3回信州安曇野ハーフマラソン ホテル満室 大切な秋本 後6ヶ月消費してもらっている
6月中旬	安曇野玉ねぎ祭り
6月9日～19日	第33回信州安曇野あやめまつり
7月下旬	第38回あづみ野祭り
8月5・6日	第34回信州安曇野わさび祭り納涼祭・YOSAKOI安曇野
8月上旬	第31回ふるさと夏祭り
8月14日	第11回安曇野花火 15日 誠と連日である。ハイ見にきてる(1620)
8月中旬	第27回信州安曇野能楽鑑賞会
8月下旬	第33回安曇野道祖神まつり
9月下旬	第49回安曇野観光草競馬大会
9月26・27日	穂高神社御船祭り
10月上旬～11月上旬	第8回安曇野やさいスイーツフェア
11月上旬	安曇野スタイル
11月上旬	第5回信州安曇野新そばと食の感謝祭 農林業まつり
11月中旬～1月初旬	国営アルプスあづみの公園 光の森のページェント
12月初旬（金・土・日）	安曇野神竹灯
12月初旬～1月31日	2017Azumino.光のページェント

COURSE MAP コースマップ



さとぶろ。フォーラム

～ いま、里山で 何が？ ～

「さとぶろ。」とは、平成27年3月に策定された「安曇野市里山再生計画」に関する活動の愛称です

申込み不要・入場無料！



2017年3月11日(土) 13:00~16:00 安曇野市役所4階



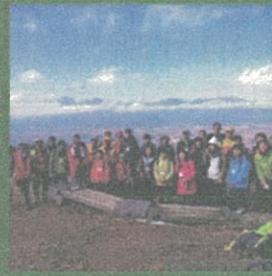
①薪割り機で薪づくり



②安曇野材を使った住宅



③チェーンソーでの伐倒



④ハンターと歩く里山



⑤マツタケの可能性を探る

「里山のあるべき姿に再生し、元気な里山を取り戻す」ことをめざし、5つのプロジェクトが活動しています。

今回は、安曇野の里山の喫緊の課題ともいえる「松枯れ」をテーマに、里山の再生について学びます。

また、一年間の取り組みをご報告します。大勢のみなさまのご参加をお待ちしております。

第1部

講演「松くい虫被害地における里山の再生」

13:10~14:10

《講師》長野県林業総合センター 育林部 研究員 清水香代氏

松くい虫の被害が、安曇野市内各地で広がっています。蔓延防止のため、里山の樹種を変えるのを目的にアカマツを伐る「更新伐（こうしんばつ）」という事業を、明科地域で行いました。更新伐のあと、里山にどのような変化が起きているのか、ねらい通りに樹が生えてきているのか…など、研究成果をわかりやすく発表していただきます。

第2部

さとぶろ。活動報告

14:20~16:00

5つのプロジェクトによるブース出展
(展示・体験・交流など)

安曇野の里山
どんな木がある?
どんな材になる?

- ①木質バイオマス利用促進プロジェクト
- ②安曇野材利用促進プロジェクト
- ③里山学校プロジェクト
- ④里山保全・体験学習プロジェクト
- ⑤松枯れ対策実践プロジェクト

ハンティング
シミュレーション
(模擬狩猟体験)
※実弾は使いません

山仕事の道具を見てみよう!

同時開催

13:30~16:00

積み木ワークショップ
1万個の積み木で遊ぼう!※小学生以上対象(小学校低学年は保護者同伴)

要申込

主催:長野県建築士会安曇野支部

主催:さとぶろ。 安曇野市里山再生計画推進協議会

問合せ:安曇野市役所農林部 耕地林務課 林務担当 0263-71-2432(直通)

kouchirinmu@azumino.city.nagano.or.jp

1万個の積み木で遊ぼう！

さとぶろ。フォーラム
同時開催イベント

積み木ワークショップ

安曇野市内では、松くい虫被害による松枯れが拡がっています。長野県建築士会安曇野支部では、松枯れの事をたくさん的人に知ってもらうため、松枯れ材を再活用した取り組み「積み木プロジェクト」を実施しています。枯れた松を、そのまま朽ちさせるのではなく、再び積み木として使うことで、松枯れ材（アカマツ）の有効活用をします。1万個の積み木を使って、楽しみながら大きな家を作つてみませんか？

【日 時】2017年3月11日（土）13:30～16:00（13:00 受付開始）【会 場】安曇野市役所4階

【参加費】無料 【対 象】小学生以上（小学校低学年の場合は保護者同伴）

【主 催】一般社団法人 長野県建築士会安曇野支部

【共 催】さとぶろ。安曇野材利用促進プロジェクト

※事前に申込みが必要です

写真は昨年10月に実施したワークショップの様子



積み木ワークショップ（3/11）申込用紙

1. 申込みされる方について、ご記入ください（子どもだけ参加の場合も大人の方がお申込みください）

申込者氏名	ふりがな	
住 所	〒	
電話番号	※イベント当日連絡がとれる番号	メールアドレス

2. 参加される方全員について、ご記入ください

番号	参加者氏名	性別	年齢
①		<input type="checkbox"/> おとな	<input type="checkbox"/> こども（　　才）
②		<input type="checkbox"/> おとな	<input type="checkbox"/> こども（　　才）
③		<input type="checkbox"/> おとな	<input type="checkbox"/> こども（　　才）
④		<input type="checkbox"/> おとな	<input type="checkbox"/> こども（　　才）

お預かりした個人情報は適正に管理し、本ワークショップのみの使用とし、それ以外の目的には使用いたしません

【問合せ・申込み先】安曇野市役所農林部 農地林務課 林務担当 電話：0263-71-2432（直通）

FAX：0263-71-2507 E-MAIL：kouchirinmu@azumino.city.nagano.or.jp

早春邦楽演奏会

3月26日

午後2時～3時

入場無料（申込不要）

安曇野高橋節郎
記念美術館 主屋

曲目：春の海／小川のほとり

ほか

ピアノ 中澤弘子

宮城会正会員 宮城流教師
安曇野文化塾アリーナ会員

箏 河上美貴子

宮城会正会員 生田流宮城派
箏曲（箏、三弦）大師範 安曇
野文化塾アリーナ主宰

箏 安藤登志子

中信三曲協会会长、宗家竹友社
長野県支部長、松本竹友会会長

尺八 渡辺清堂

田淵行男記念館の6月までの企画展・イベント等

① 百楽桜まつり　日時：4月8日（土）正午～15時まで

記念館前に田淵行男が遺した「一山百楽」という言葉にちなんで命名された「百楽桜」という桜があります。

この桜の開花時期に合わせて記念館のワサビ田テラスにてお茶のサービスを行います。

当日に限り入館料無料ですので、是非お立ち寄りください。

② 館野 鴻 原画展「ぎふちょう」

会期 2017.4.25（火）-7.2（日）

精密で写実的な描写で、図鑑や生物画、解剖図なども手掛ける絵本作家の館野鴻（たての・ひろし）氏。

自身の観察に基づいた、昆虫の絵本も発表されています。

今展ではその中の一冊『ぎふちょう』（2013年偕成社）より、原画22点を展示します。

関連イベント

館野 鴻 氏 ギャラリートーク

日時：5月7日（日）午後2時～3時

場所：田淵行男記念館地階展示室

定員：40名（要入館料）

内容：作品について、そして田淵行男との関連についてお話しいただきます

③ 講師と行く乗鞍高原撮影会

写真家の小口和利さんを講師にお迎えし、バスで乗鞍高原の撮影スポットを訪れます

日程：5月21日（日）午前7時30分～午後4時30分（予定）

定員：20人

参加費：2,000円

持ち物：昼食、カメラなど

田淵行男写真展

「伝承文化の雪形」



田淵行男 1975年撮影【箭ヶ岳「植崎き箭さん」鹿島槍「槍」「獅」】

2017.3.14(火)～2017.6.4(日)

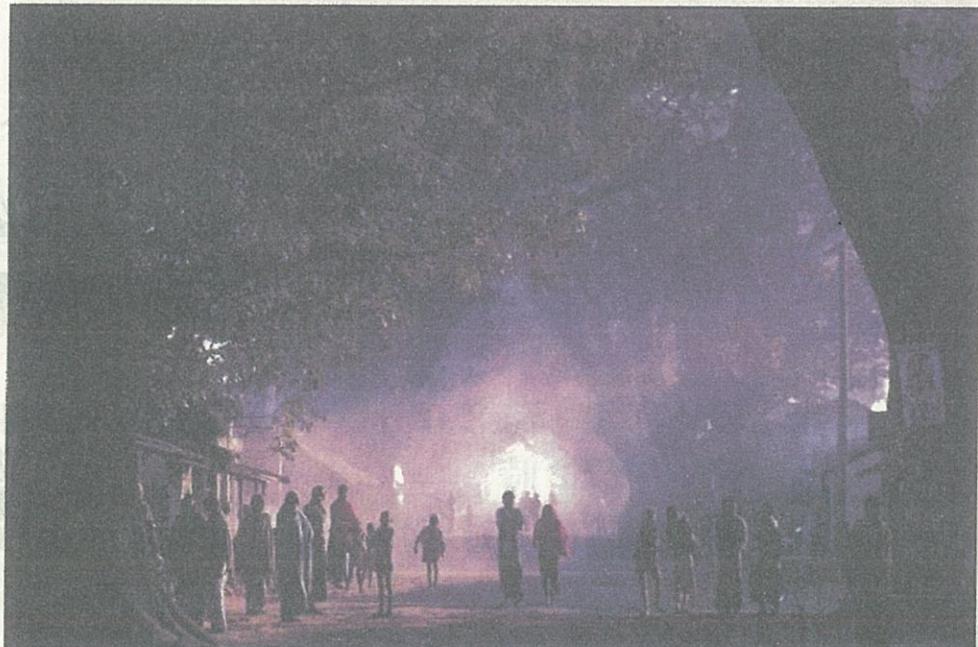
雪形(ゆきがた)とは、雪解けの山に浮かんでくる形を人や動物などの形に見立てたもので、昔から農作業などの目安として人々に親しまれてきました。山岳写真家で昆虫の生態研究家でもあった田淵行男(1905-89)は、全国に散らばる雪形についての調査を行い、1981年に記録写真集『山の紋章 雪形』(学習研究社)としてまとめました。今展では、人々の伝承の中に生きる雪形を、田淵の写真とエッセイでご紹介します。

神長幹雄写真展

「アジアの小国とそこに暮らす人々」

2017.1.17(火)～
2017.4.23(日)

山岳雑誌の編集者として長年活躍されてきた神長幹雄氏。2015年には、田淵行男の評伝「安曇野のナチュラリスト田淵行男」(近藤信行著/山と渓谷社)の出版を実現されました。また、山と旅を愛し、会社勤めの傍ら様々な国を訪れ、写真を撮りためてこられました。今展では、神長氏が特に惹かれたというアジアの小さな国々の風景をご紹介します。



神長幹雄 撮影【農村の朝は早く、バスの街道沿いに人々が集まる。パングラデシュ・シャシャで】

田淵行男記念館

YUKIO TABUCHI MEMORIAL MUSEUM
<http://tabuchi-museum.com/>

T 399-8201 長野県安曇野市豊科南穂高5078-2
TEL : 0263(72)9964 FAX : 0263(88)2010

A JIZUMINO ART LINE
安曇野アートライン
当館は安曇野アートラインに参加しています

2017

春を呼ぶ コンサート

3/12 日



Fl. 福留亜紀（松本出身）



Fl. 竹内朱里（生坂出身）



Fl. 藤木めぐみ（明科出身）

program

- ・カノン
- ・春よ来い
- ・思い出がいっぱい
- ・となりのトトロメドレー
- ・クーラウのトリオ
- ・さくらさくら

他



Pf. 星井彩美（埴尻出身）

開場：午後1時30分

入場料：入館料が必要（常設展料金）

開演：午後2時

一般 500円

会場：美術館多目的ホール

大高生 300円

市内在住70歳以上の方・中学生以下無料

↑ 安曇野市豊科近代美術館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科5609-3

tel:0263-73-5638 fax:0263-73-6320

開館時間／午前9時から午後5時まで ※入場は閉館の30分前まで

休館日／月曜日、および祝祭日の翌日 年末年始 12/28~1/4

入館料／一般500円（400円） 大高生300円（200円） （ ）内は20名以上の団体

市内在住70歳以上の方・中学生以下無料

「友の会絵画部作品展」および
「常設展」をご覧いただけます。

平成 29 年度 安曇野市豊科近代美術館 春の特別展
安曇野市豊科近代美術館開館 25 周年記念

いわはした かし

だいち かお

岩橋崇至 山岳写真展「大地の貌」

開催概要(案)

名 称：安曇野市豊科近代美術館開館 25 周年記念 岩橋崇至 山岳写真展「大地の貌」

会 期：29 年 4 月 28 日(金)～6 月 4 日(日) 開館 33 日間

搬入展示：4 月 21 日(金)～4 月 27 日(木) / 搬出撤収：6 月 6 日(火)～6 月 9 日(金)

主 催：安曇野市豊科近代美術館・公益財団法人 安曇野文化財団

共催(予定)：信濃毎日新聞社

後援(予定)：安曇野市・安曇野市教育委員会・市民タイムス・NHK 長野放送局・SBC 信越放送

NBS 長野放送・TSB テレビ信州・abn 長野朝日放送・あづみ野テレビ・あづみ野エフエム 他

協力(予定)：岩橋崇至写真事務所・IWAHASHI ROCKIES FORUM・キヤノン株式会社

協賛(予定)：未定

開館時間：午前 9 時～午後 5 時(入館は午後 4 時半まで)

休 館 日：毎週月曜日 5 月 1 日、8 日、15 日、22 日、29 日

入 館 料：一般 700(600)円、大学高校生 500(400)円、※中学生以下無料 ()内は団体料金

入館想定：5,000 人(有料 3,000 人、無料 2,000 人)

平成 4 年に豊科町立として開館して 25 年、現在は安曇野市の基幹美術館として、多彩なジャンルの展覧会を開催してまいりました。25 周年を記念する企画として山岳写真家の岩橋崇至さんによる写真展を開催します。岩橋さんは全世界をフィールドに活躍する一方で、日本においては、ここ安曇野を麓に連なる北アルプスを中心に活動されています。足繁く通う北アルプスでは地球温暖化などによって引き起こされるさまざまな環境の変化を肌で感じ、その変化を写真に記録しています。本展では山岳写真の美しさもさることながら、身近な自然環境の変化を感じ、現代の生活を考え直す一端となればと考えています。また、普段訪れる事の難しい「ロッキー山脈」「白頭山」「ロックガーデン」といった海外の雄大な自然が織りなす造形美を大画面の写真で体感いただけます。約 200 点にも及ぶ作品を一堂に展示し、老若男女を問わずお楽しみいただけます。とりわけ未来を担う子供たちに見ていただき、感じていただきたい展示となっています。

●岩橋崇至 (いわはしたかし) 1944 (昭和 19) 年～

1944 年、東京・世田谷生まれ。慶應義塾大学卒。日本大学芸術学部写真学科卒。日本山岳写真集団元代表・日本写真家協会・日本写真協会・日本写真芸術学会・日本山岳会・日本黒部学会、各会員。慶應在学中より登山家として、北アルプス、ヒマラヤ等にてキャリアを積む。日本画家で父・岩橋英遠(1903～1999) の助手として、大学時代より富士山、北海道、中国、インド、南北米大陸などの取材旅行に同行。独立後は世界各地の山や自然、遺跡などを取材。相模原市市民文化祭ほか、各地の写真審査員「子ども写真ワークショップ」の講師(沖縄・山形・北海道・東京ほか) を務めるほか、講師や審査員を務めるなど活躍。国内外 100 カ所以上で展覧会を開催。2000～2001 年、仏、伊、西、加、日で開かれた「新世纪を拓く／世界 10 人の山の写真家展」に日本からただ 1 人選ばれる。1997 年より「岩橋崇至写真自然塾」を主宰。宇奈月セレネ美術館(「秘境黒部」全 50 点)、立山カルデラ砂防博物館、関西電力電気記念館などで作品所蔵。現在は、山々の変化、失われつつある自然の姿を次世代へ伝え残すべく、撮影、活動を続けています。

関連イベント(案)

●オープニング式

平成 29 年 4 月 28 日(金) 午前 10 時~11 時

- ・関係者によるテープカット、内覧会
- ・歓談会 午前 11 時~12 時

●ギャラリートーク

作家によるギャラリートークを開催

日時：4 月 29 日(土)、5 月 13 日(土)、5 月 20 日(土)

— いづれも午後 2 時から 1 時間程度

会場：2 階企画展示室

参加費：無料(入場料が必要)

申込み：不要

●岩橋崇至講演会

作家によるスライドショーを使った講演会

講演テーマ未定

日時：5 月 6 日(土) 午後 2 時開演

会場：美術館多目的ホール

参加費：無料(入場料が必要)

申込み不要

●こども写真教室

作家によるこども(親子)を対象とした写真教室

日時：5 月 21 日(日) 午後 2 時より 2 時間程度

会場：美術館多目的ホールほか屋外庭園

参加費：無料(参加者には展覧会招待券進呈)

申込み：要申込み、親子 15 組

※撮影した参加者の写真は会期中の美術館にて展示を予定

●市内小中学生親子招待

安曇野市内に在籍する小中学生に招待券付の DM を配布

※小中学生は無料対応、DM は大人 2 名まで無料の招待券を印刷する。

●美術館バラ祭り

5 月 27 日～6 月 4 日に美術館庭園を中心に行われる

毎日午前 9 時～午後 4 時(最終入場午後 3 時)、料金：大人 1,000 円、中学生 500 円、小学校 300 円

※入園料：大人 1,000 円、中学生 500 円、小学校 300 円



安曇野市

平成28年度 企画展

レッドデータ展Ⅱ ~失われゆく植物たち~

08:11~20:30 2017 3/4(土) ▶ 4/9(日)



安曇野市豊科郷土博物館 2階展示室

安曇野市レッドデータ展II～失われゆく植物たち～

昨年に続きレッドデータ展の第2弾、今回のテーマは植物です。

2014年に発行された「安曇野市版レッドデータブック」では絶滅のおそれのある植物として342種が指定されました。豊かな自然を誇る安曇野市ですが、自然環境は変化し続けています。絶滅危惧種の植物たちはどんなところに暮らしているのでしょうか？

このほか安曇野の植物についてさまざまなテーマでご紹介します。ぜひご覧ください。

絶滅危惧種の
植物たちと
その生育環境

「安曇野」に
ゆかりのある種名が
つけられた植物たち

受け継がれる標本、
保全の取り組み
など

市内の自然に関する団体の活動の紹介コーナー

安曇野市で活動している皆さん、あなたの団体の活動について教えてください！！くわしくは博物館へ。

関連イベント

自然はふしげでおもしろい！
わくわくする生きものの世界へ
ようこそ

自然講座2 3月18日(土) 9:30~11:30

生きものたちが歩んできた はるかなる道を探る ～生物系統地理という世界～

地球スケールの
生きものの歩みを
遺伝子から
解き明かす！

昆虫編▷東城幸治氏（信州大学理学部）
植物編▷津田吉晃氏（筑波大学菅平実験センター）
[会 場] 豊科郷土博物館 2階学習室
[定 員] 50名（先着順）
[申し込み] 2月21日(火)～3月17日(金)までに
お電話で博物館へお申し込みください。
[参 加 費] 無料（入館料が必要です）

講座・観察会のお申し込みはこちらへ
豊科郷土博物館 0263-72-5672

自然講座1 3月4日(土) 9:30~11:00

安曇野の自然の魅力 ～北アルプス常念山脈と その山麓一帯で出あった植物たち～

安曇野は自然の宝庫！
地元の研究者が語る
豊かな植物の世界

橋渡勝也氏（安曇野市教育長）

[会 場] 豊科郷土博物館 2階学習室
[定 員] 50名（先着順）
[申し込み] 2月21日(火)～3月3日(金)までに
お電話で博物館へお申し込みください。
[参 加 費] 無料（入館料が必要です）

自然観察会
スタート！ 3月25日(土) 9:00~11:30

早春の野鳥観察会 観察エリア：早春賦の碑～ 三角島周辺

春の気配を
感じながら
鳥たちの暮らしを
観察しよう♪

丸山 隆氏（前信州野鳥の会会長）

[定 員] 20名（先着順）
[申し込み] 2月21日(火)～3月22日(水)までに
お電話で博物館へお申し込みください。
[参 加 費] 150円（保険料等）

【開館時間】午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【入館料】高校生以上100円（20名以上の団体は1名につき80円）

※中学生以下、安曇野市内在住の70歳以上の方は無料

【休館日】月曜日（祝日の場合は開館）・祝日の翌日



安曇野市豊科郷土博物館

TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289番地8

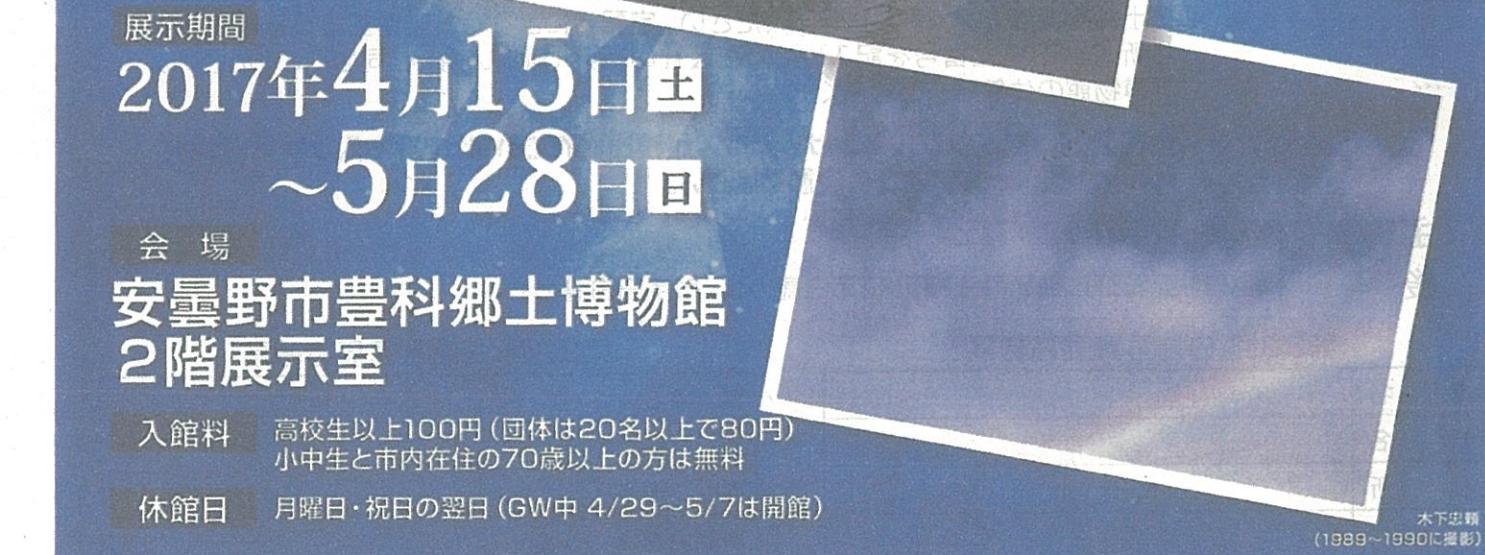
<http://azuminohaku.jp/>



JR大糸線豊科駅より徒歩15分
JR篠ノ井線田沢駅より車で10分
長野自動車道安曇野I.Cより車で5分

第33回 白鳥写真展

—白鳥飛来の思い出・私の一枚—



展示期間

2017年4月15日㈯
～5月28日㈰

会場

安曇野市豊科郷土博物館
2階展示室

入館料

高校生以上100円(団体は20名以上で80円)
小中生と市内在住の70歳以上の方は無料

休館日

月曜日・祝日の翌日(GW中 4/29～5/7は開館)

木下忠輔
(1889～1990に撮影)

出品作品を募集しています 募集要項は
裏面をご覧ください



安曇野市豊科郷土博物館 <http://azuminohaku.jp/>

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289-8 tel.0263-72-5672 fax.0263-72-7772

●JR大糸線豊科駅から徒歩15分 ●JR篠ノ井線田沢駅から車で10分 ●長野自動車道安曇野インターチェンジから車で5分

【主催】 安曇野市豊科郷土博物館

【後援】 安曇野市観光協会／アルプス白鳥の会／御宝田白鳥の会

第33回 白鳥写真展 出品作品募集

—白鳥飛来の思い出・私の一枚—

募集期間 ■ 2017年3月1日(水)～3月31日(金)

展示期間 ■ 2017年4月15日(土)～5月28日(日)

会場 ■ 安曇野市豊科郷土博物館 2階展示室

初飛来から昨シーズンまでに安曇野市内で撮影した
白鳥および白鳥に関する写真を募集

※今シーズン撮影の写真は受け付けません。

作品募集期間 ■ 2017年3月1日(水)～3月31日(金)午後5時まで。直接または宅配便等で搬入ください。(ガラス額等の場合、破損のないように梱包して下さい)
※3月6・13・21・27日は休館日です。

応募先 ■ 安曇野市豊科郷土博物館
〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289-8
(TEL)0263-72-5672 FAX0263-72-7772

テーマ ■ 初飛来から昨シーズンまでに安曇野市内で撮影した過去の白鳥写真を公募し、展示。

出品料 ■ 無料

審査 ■ なし

注意事項 ■ カラー・白黒不問。四つ切以上。応募点数は一人2点以内とし、作品は額かパネルに入れ、展示用のヒモをつけてください。また、額の裏に応募票(なければ氏名・住所・電話番号・題名・およその撮影年を明記したもの)と、額を入れた箱にも氏名・題名を明記してください。※今シーズン撮影の作品は受け付けません

返却について ■ 応募作品は展覧会終了後返却しますので、6月6日(火)から30日(金)の間に、郷土博物館まで必ず取りに来てください。宅配便による返却を希望される場合は、住所・氏名・電話番号を記入した運送会社の伝票(着払い用)を同梱してください。(博物館の休館日にご注意ください。)

その他 ■ 全国各地で鳥インフルエンザウィルスが検出されています。立ち入り禁止区域内には決して入らないようご注意ください。

主催 ■ 安曇野市豊科郷土博物館

後援 ■ 安曇野市観光協会・アルプス白鳥の会・御宝田白鳥の会

第33回 白鳥写真展応募票

題名	
氏名	
住所	
電話番号	
撮影年	

第33回 白鳥写真展応募票

題名	
氏名	
住所	
電話番号	
撮影年	

第33回 白鳥写真展応募票

題名	
氏名	
住所	
電話番号	
撮影年	

第33回 白鳥写真展応募票

題名	
氏名	
住所	
電話番号	
撮影年	